

令和6年度事業報告



ひたすらなるつながり

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目次

I	令和6年度事業計画の重点項目に基づく事業	1
II	部門別事業実施状況	
	経営部門	
	＜総務課＞	10
	＜修学・生活資金課＞	21
	地域福祉部門	
	＜地域福祉課＞	28
	＜レイカディア振興課＞	49
	＜しがレイカディア・エクステンションセンター（S L E C）＞	55
	人材部門	
	＜介護・福祉人材センター＞	58
	＜社会福祉研修センター＞	69
	福祉用具センター	74
	COZY TOWN	79
	運営適正化委員会	82

令和6年度事業計画の重点項目に基づく事業

令和6年度は第三次経営計画の初年度として、これまでの取組みで培ってきた実践的な視点、現場目線・当事者目線をしっかりと持って、協議体としての役割を発揮していくため、「実践と協働の進化」をスローガンとし、ともに生きる地域社会づくりをすすめることとして、「目指す滋賀県社協の姿」の実現に向け、着実に事業を推進した。

【目指す滋賀県社協の姿】

- ・ともに生きる社会のありようを描き、志を同じくする人たちとともに、多様なかたちで「人間的共感に根ざした人々のつながり」をつくる組織
- ・ニーズを基盤にした生活者支援を推進するため、県内社会福祉協議会のネットワークを強化し、人材育成と実践の推進に取り組む組織
- ・福祉従事者の社会的価値を高め、福祉滋賀を担う人材を豊かにするため、社会福祉法人等民間福祉関係者と県との公私協働のもと、「滋賀の福祉人」づくりに取り組む組織

1 法人基盤の強化

第三次経営計画の執行管理を行い、理事会において進捗状況の報告を行った。

また、人材育成基本方針に基づき、職階に応じた職務遂行能力の向上のため、職場内部研修の実施、階層別研修等への参加により、職員の資質向上を図るとともに、メンター制度を導入し新規採用職員の定着を図った。

さらに、災害等非常時における危機管理の取組として、レイカディア大学学生参加者のもと消防訓練を実施した。

(1) BCPの見直し整備、災害等非常時対策の推進

令和7年度見直しに向けて検討を進めた。

(2) 法人を支える職員育成の推進

<職員研修実施概要>

① 施設現場研修

4名（児童養護施設、障害者支援施設、救護施設）

② 内部研修

第三次経営計画研修(8回)、新任研修(4日間)、ハラスメント研修(各係単位)、人権研修、交通安全研修

③ 法人内事業利用研修

滋賀の福祉人研修(新任・中堅・リーダー・管理職)

市町村協会会長会中間管理職研修、えにしアカデミーへの派遣

④ 外部研修

全社協社会福祉主事任用資格(全国社会福祉協議会主催)、部落解放研究滋賀県集会
社会福祉士実習指導者講習会(滋賀県社会福祉士会主催)

2 特例貸付利用者に対するフォローアップ支援

特例貸付利用者の債務の免除や猶予等の適用により、生活に困窮している利用者の負担軽減と生活再建を図るとともに、利用者世帯が抱える様々な生活課題の解決に向けた支援を、各市町社協や生活困窮者自立支援機関等と協働して進めた。

(1) 特例貸付利用者に対して、アウトリーチ等による積極的なフォローアップ支援の推進

特例貸付利用者世帯への免除・猶予手続きの個別勧奨や各世帯が抱える生活における困りごとの把握を、調査チームによるアウトリーチならびにコールセンターによる聞き取りにより実施した。

また、海外にルーツを持つ利用者への対応として、外国語対応可能な職員による訪問、またコールセンターでの多言語対応も行った。

○フォローアップ支援（訪問）件数（令和6年度実績）

訪問件数	面談成立数	面談率
20,763件	6,175件	29.7%

(2) 市町社協や自立支援機関と連携し、借受人が抱える課題の解決に向けた取組の推進

特例貸付利用者訪問先のリストを事前に市町社協と共有し、把握した内容についてはシステムを通して市町社協と情報共有を図るとともに、生活上の困りごとを把握した際には市町社協や自立支援機関につなぐことにより、地域密着によるきめ細やかな個別相談対応を行った。

3 困難を抱える子ども・若者を地域で支える取組の推進

つながり若者センター2拠点（マザーボード、コージータウン）において、生きづらさを抱える若者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

また、滋賀県地域養護推進協議会との協働による若者を地域で支える取組を推進した。

さらに、地域における要支援児童等の居場所“フリースペース”づくりの理解促進を進める研修会の開催等により7箇所が新設、1か所が再開され県内20箇所が開設されることになり、地域におけるネットワーク構築を促進した。

(1) 地域養護による若者支援の推進

<つながり若者センターの活動>

① 相談支援活動

・つながり若者センターマザーボード

相談支援実績(実人数129名)

生活相談	就労相談	医療相談	法律相談	計
2,253件	492件	117件	175件	3,037件

・つながり若者センターコージータウン

相談支援実績(実人数56名)

生活相談	就労相談	医療相談	法律相談	計
866件	210件	83件	16件	1,175件

② 居場所活動

・つな若キッチン(12回開催、延べ65名参加)

・つな若ダイニング(10回開催、延べ139名参加)

- ・つな若コージー食堂(11回開催、延べ114名参加)
 - ・OEKAKI会&コージー食堂(12回開催、延べ121名参加)
 - ・交流サロン兼コージー食堂(11回開催、延べ117名参加)
- (2) 地域における要支援児童等の居場所「フリースペース」づくりの推進
- ・フリースペース箇所数:20か所
(定義拡大による増:5か所、新規開設:2か所、再開1か所)
 - ・支援者研修会の開催(2日間開催、参加者延べ122名)
 - ・運営者交流会の開催(2回開催、延べ43名参加)
 - ・推進委員会の開催(3回開催)



4 しがレイカディア・エクステンションセンターの開設とアクティブシニアに関する情報の発信

しがレイカディア・エクステンションセンターにおいて、趣味・生きがいづくり、社会参加・貢献に活かせるスキルを身につけることを目的とした「SLEC友活講座」、テーマトークとワークショップを内容とする「ベース友活」を開催し、アクティブシニアのスキルアップと交流を推進した。

また、「ともいきプラットフォーム」の令和7年10月開設に向けて、SLEC推進委員会において、健康寿命の延伸とシニアライフを豊かにする取り組みを具現化するための基本計画「SLECマスタープラン」を策定した。

(1)ベース友活の実施

回数 23回
 参加人数 延べ290名
 内容 テーマトーク、ワークショップ

(2)SLEC友活講座の実施

回数 13回
 参加人数 延べ163名
 内容 紙芝居創作講座、
 バルーンアートボランティア養成講座等



(3) Web サイト「生きがいの森」の再構築と活用

びわこシニアネット内に、レイカディア大学卒業生の地域活動の検索システム「生きがいの森」において、在学生の活動のきっかけとなる情報を掲載した。

検索数968件

(4) SNS 等各種ツールを用いた積極的な情報発信

びわこシニアネットを用いて積極的な情報発信を展開した。

- ・ボランティアによるHP更新：毎週月・木曜日、
- ・ボランティア登録者数4名
- ・更新回数 48回
- ・びわこシニアネットアクセス件数

2025. 3. 31現在：282, 041件

2024. 4. 1～2025. 3. 31アクセス数：6, 825件 1日平均18. 6件

5 地域に密着した人材確保、人材定着への取組み

市町との連携や地域内の事業所連携等、地域密着型の取組みを推進した。

また、事業所訪問等により現場が求めている人材像を的確に把握し、学生や求職者とのマッチングを図っていくよう取組を強化した。

(1) 就職フェア等における市町との連携強化

- ・圏域、市町における人材確保会議への参加

<市町域>

大津市、湖南市、東近江市、高島市

<圏域>

南部、甲賀・湖南、湖東、湖北の圏域

- ・市町主催の就職フェアへの参加

<市町域>

近江八幡市、高島市

<圏域>

甲賀・湖南、湖東、湖北

(2) 圏域を細分化した職場説明会の実施

大津、草津、湖南、東近江、甲賀、湖東、長浜

※大津市においては共催にて実施

湖北の圏域で職場説明会を実施した。(8回)

(3) 事業所訪問による個別ニーズ情報収集強化

3法人5事業所への訪問。職場体験終了後の相談員による聞き取りを実施した。

また、他事業における振返り時に、相談員による聞き取りも実施した。



6 滋賀の福祉人づくり

滋賀の福祉人研修やえにしアカデミーを通して、福祉人材の質を向上、滋賀の福祉リーダー育成に取り組んだ。

滋賀の福祉人研修については、カリキュラム検討委員会での検討を踏まえ、県内の福祉従事者の福祉の専門性として、価値（考え方）に重点を置き、自らの福祉観を育むよう、内容充実に努めた。

(1) えにしアカデミーの充実と広報強化

① 第2期生修了式の開催

開催日 令和6年9月12日(木)

場 所 ホテルポストプラザ草津びわ湖

出席者 37名(うち第2期修了生14名)

② 第4期生入学式の開催

開催日 令和6年10月3日(木)

場 所 滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室

出席者 32名(うち4期生入学生12名)



③ 講義等の実施

オンライン講義 34回

集合講義 8回

1年・2年共通オンライン特別講義

開催日 令和7年1月17日(金)

テーマ 社会保障・こども政策の展望

講師 田中 義高 氏 (子ども家庭庁 長官官房 参事官)

出席者 学生20名

えにしアカデミー特別講座の実施

開催日 令和7年3月17日(月)

場所 滋賀県庁新館7階 大会議室

テーマ 子ども若者とともにつくる共生社会～私とあなたの居場所づくり～

登壇者 湯浅 誠フェロー・岸本 織江氏 (滋賀県副知事)・上野谷 加代子学長

出席者 学生25名、一般70名 計95名

プログラム 第1部 湯浅フェロー講義

第2部 湯浅フェロー・岸本副知事・上野谷学長によるトークセッション



④ ゼミの実施

- ・2期生(令和6年4月～令和6年9月) 14名の学生が5つのゼミクラスで活動
- ・3期生(令和6年10月～令和7年3月) 15名の学生が5つのゼミクラスで活動
- ・4期生(令和6年10月～令和7年3月) 1年生ゼミ

⑤ 3期生修了論文構想発表会の開催

開催日 令和6年8月6日(火)

場 所 滋賀県立長寿社会福祉センター

出席者 60名(2期生、2期生の推薦者、フェロー、3期生等)

⑥ えにしアカデミー修了論文集の作成

1期生28名の修了論文を論文集にして作成

配布先は、修了生および修了生所属事業所、関係機関等

(2) 「滋賀の福祉人マスター」および在籍事業所の推奨

・「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業

▶1期生(2年目助成)

助成件数:14名(14事業所)

助成実績額: 1,295,000 円

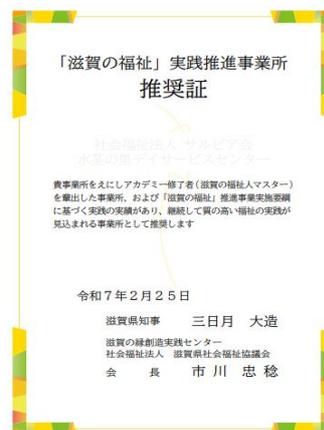
助成期間:令和6年4月1日から令和7年3月31日

▶2期生(1年目助成)

助成件数:7名(7事業所)

助成実績額: 350,000 円

助成期間:令和6年10月1日から令和7年3月31日



・「滋賀の福祉」実践推進事業所推奨事業

日時:R7年2月25日 16:00～16:30

会場:第1研修室

推奨事業所:14事業所(えにしアカデミー第1期生)



(3) 滋賀の福祉人研修のカリキュラムの充実と新規受講法人の拡大

・社会福祉共通研修

- i 新任期(原則3年未満) (3日×2コース) [修了者数]55人
- ii 中堅期(原則5年未満) (3日×1コース) [修了者数]41人
- iii チームリーダー (3日×1コース) [修了者数]39人
- iv 管理職 (2日×1コース) [修了者数]24人

・介護分野で働く「滋賀の福祉人」育成研修

介護職階層別

- i 新任期(原則3年未満) (5日×5コース)[修了者数]39人
- ii 中堅期(原則5年未満) (5日×1コース) [修了者数]31人
- iii チームリーダー (5日×1コース) [修了者数]23人
- iv 管理職 (3日×1コース) [修了者数]16人

介護職員チームリーダー養成研修（17日×2コース）[修了者数]21人

(4) 受講者が受講しやすい環境の確保

滋賀の福祉人研修の充実のために、カリキュラム検討委員会に検討を行った。

7 介護現場のより良い改善のための取組

職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を開催した。

また、一定の研修を修了し、積極的・継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として、新規7事業所、継続1事業所を推奨した。

(1) 在宅介護者や事業所等に向けた抱え上げない介護の情報発信の強化と取組の推進

- ・抱え上げない介護入門研修 (1日) [修了者数] 73名
- ・抱え上げない介護実践研修 (5日×2コース) [修了事業所数] 12事業所
- ・抱え上げない介護定着研修① (1日×2回) [修了事業所数] 10事業所
- ・抱え上げない介護定着研修② (1日×2回) [修了事業所数] 9事業所
- ・リフトリーダー養成研修 (2日×2コース) [修了者数] 28名
- ・抱え上げない介護推進事業所見学会 (3推進事業所) [参加事業所数] 20事業所
- ・抱え上げない介護推進事業所推奨事業 (8事業所)
- ・ホームページ、SNS、啓発資料による情報発信

(2) 介護現場での生産性向上に向けた研修や相談対応の実施

①研修会の実施

介護現場革新や業務改善の必要性、方法、先進事例などを広く普及・啓発することを目的とした研修を開催した。

- ・テクノロジーを活用した介護現場の革新 (1日) [受講者数] 136人
- ・明日からできる！「職員の負担軽減&ケアの質向上」セミナー (1日)
[受講者数] 182人

【受講者の声】

- ・明日から活用できる内容で、現場に反映しやすく、すぐに課題分析に取り組みようと思えた。
- ・ICT機器等の導入ありきで進めると失敗する。現状の職場の問題を明確にしてそれを改善するには何が必要であるのかを考えたことが大切であることがわかった。



- ・介護現場における業務改善リーダー育成セミナー (1日)
[受講者数] 47人
- ・生産性向上×ノーリフティング (抱え上げない介護) (1日)

[受講者数] 47人

②相談対応窓口の開設 (R6.11.11)

サポートデスク職員や県内の介護団体から推薦いただいた、しが介護現場革新アドバイザーが、機器の導入をはじめ、業務改善の取り組み事例や介護ロボット・ICT 機器 の活用方法など、各事業所の困りごとの相談を受け、必要に応じてアドバイザーの派遣を行った。

- ・個別相談対応 37件
- ・専門相談会 10回実施 参加事業所数 141事業所

③試用貸出支援 2件

介護ロボット・ICT の普及を目的に、機器に関する相談やメーカー企業の紹介、機器の試用貸出等を行った。

④業務アドバイザーの育成および派遣

- 業務アドバイザー 13人委嘱
- 業務アドバイザー研修 (1日×2回)
- ・業務アドバイザー視察研修 (1日×2回)
- ・業務アドバイザー派遣 2事業所

8 コージータウンを生かした社会福祉事業や“ごっちゃん事業”の発展

(1) 多様な人が交流するコージータウンカフェの運営

多様な人が交流する居心地の良い空間「コージータウンカフェ」において、本会が運営する特色を生かし、「つな若コージー食堂」「おやこサロン」等、カフェ等を活用したイベントや、SLEC 事業等とリンクした企画等、コージータウンを生かした社会福祉事業を行った。

・来客数と売上

年月	来客数	売上
R6 4月	1,586	635,850
5月	1,436	567,700
6月	1,533	636,400
7月	1,770	709,350
8月	1,543	648,800
9月	1,704	706,250
10月	1,708	675,700
11月	1,708	700,200
12月	1,561	643,800
R7 1月	1,736	614,300
2月	1,561	625,150
3月	1,825	775,600
合計	19,671名	7,939,100円



★参考

令和5年度 来客者数 18,251名、売上 8,137,320円

(2)生活福祉資金相談+介護・福祉の仕事相談等+カフェ等、事業の連携・複合による“憩いと相談の場”の推進

駅近・商業施設・カフェというコージータウンの持ち味を生かし多部署、多団体と事業の連携・複合による“憩いと相談の場”の推進を展開した

- ① およこサロン(子育て支援)＜小嶋会・さざなみ学園×つなわか×カフェ＞(週1回開催)
- ② 若者食堂(若者の居場所活動)＜さざなみ学園×つなわか×カフェ＞(月3回開催)
- ③ ころと身体の発育サロン「ここから座談会」(心理士による教育相談)(月1回開催)
＜さざなみ学園×つなわか×カフェ＞
- ④ 特例貸付猶予・免除の手続き相談会＜修学・生活資金課×コージータウン推進課＞(2回開催)
- ⑤ 福祉用具ミニ展示会＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根＞(2日間開催)
- ⑥ みんなにやさしい『抱え上げない介護』ミニ体験会＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根＞
(1回開催)
- ⑦ 子ども食堂フェスタ in コージータウン
＜地域福祉課×子ども食堂×えにしの会×スポンサー企業×アル・プラザ彦根＞(台風「により中止」)
- ⑧ 「COZY TOWN café +PLUS カモミール」の開催
＜小嶋会・さざなみ学園×つなわか×カフェ×コージータウン推進課＞(8回開催)
- ⑨ ふく楽カフェ(現任者向け)
＜社会福祉研修センター×介護・福祉人材センター＞(2回開催)

(3) 他法人、団体との協働によるバリアフリー企画、多世代交流企画等、“ごっちゃん企画”の推進
社会福祉法人グローと協働し、11回開催、延べ参加者数 503名

(4) COZY TOWNフェスタは、台風により中止

総務課

1 理事会、監事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

<第1回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和6年5月21日（火）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1)理事の補充選任に伴う、評議員に提出する候補者の選任について

<第2回>

開催日 令和6年6月12日（水）

- 議 題
- (1) 令和5年度 事業報告（案）について
 - (2) 令和5年度 一般会計収支決算（案）について
 - (3) 令和5年度 生活福祉資金会計収支決算（案）について
 - (4) 常務理事の選定について
 - (5) 第37期監事候補者の補充選任について
 - (6) 令和5年度第2回評議員会（定時評議員会）の招集について

<第3回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和6年7月26日（金）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任について

<第4回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和6年9月18日（水）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1)滋賀県社会福祉協議会 給与規程の一部改正について

<第5回>

開催日 令和6年12月23日（月）

- 議 題
- (1) 滋賀県社会福祉協議会 令和6年度 第一次収支補正予算（案）について
 - (2) 表章規程の一部改正について
 - (3) 資産運用規程の一部改正について

<第6回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和7年2月14日（金）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 監事の補充選任に伴う、評議員会に提出する候補者の選任について

<第7回>

開催日 令和7年3月11日(火)

- 議 題
- (1) 令和7年度 事業計画(案)について
 - (2) 令和7年度 一般会計収支予算(案)について
 - (3) 令和7年度 生活福祉資金会計収支予算(案)について
 - (4) 令和7年度 資産運用計画(案)について
 - (5) 第36期評議員候補者の選定について
 - (6) 就業規則の一部改正について
 - (7) 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担(案)について
 - (8) 令和6年度 第4回評議員会の開催について

(2) 監事会

<第1回>

開催日 令和6年5月29日(水)

- 議 題
- (1) 事業報告等(理事の業務執行状況、法人の業務執行状況)の監査
 - (2) 計算関係書類及び財産目録の監査

(3) 評議員会

<第1回>決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和6年6月7日(金)
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任について

<第2回>

開催日 令和6年6月28日(金)

- 議 題
- (1) 令和5年度 事業報告(案)について
 - (2) 令和5年度 一般会計収支決算(案)について
 - (3) 令和5年度 生活福祉資金会計収支決算(案)について
 - (4) 第37期監事の選任について
 - (5) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会定款の変更について

<第3回>決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和7年2月26日(水)
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 監事の補充選任について

<第4回>

開催日 令和7年3月18日(火)

- 議 題
- (1) 令和7年度 事業計画(案)について
 - (2) 令和7年度 一般会計収支予算(案)について
 - (3) 令和7年度 生活福祉資金会計収支予算(案)について

(4) 評議員選任・解任委員会について

＜第1回＞ 決議の省略

- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和6年8月17日(土)
 - ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容
- (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について

2 法人体制強化の取組

(1) 第三次経営計画の執行管理

年度事業計画と併せて執行管理を行い、令和6年12月23日開催の第5回理事会において、進捗報告を行った。

(2) 県立長寿社会福祉センターの管理運営

高齢者の健康と生きがいづくりを推進し、明るく活力ある長寿社会づくりを実現することを目的・役割として設置されるセンターを、誰もが利用しやすい施設となるよう努めるとともに、その適切な管理運営に努めた。

また、設置者の滋賀県とともに、施設設備の経年使用に伴う老朽等へ計画的に対処した。

①特定施設の利用実績

特定施設を、下表のとおり約58,500名の方に利用いただいた。

＜特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計＞

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	150	186	292	292	210	94	194
人数(名)	17,575	3,366	3,559	3,579	3,984	1,469	4,060
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数(件)	244	269	210	209	219	2,569	
人数(名)	2,510	9,883	2,632	2,584	3,297	58,498	

②特定施設の稼働実績

対前年度比で0.5ポイント稼働率が減少したものの(令和5年度稼働率72.5%)、施設の有効活用の目標である62.7%を9.3ポイント上回った。満足度に関する利用者アンケートでは「満足」「やや満足」で92%を超えており、利用者の満足度は高い結果となった。

＜特定施設の本年度稼働率＞

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	50.5%	62.6%	98.3%	98.3%	70.7%	31.6%	65.3%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	81.9%	90.3%	70.7%	70.4%	73.7%	72.0%	

③センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、その適正な保全と維持管理に努めた。

- ・建築保全業務の一部委託実施
- ・清掃業務の委託実施

- ・施設管理業務の委託実施
- ・電気およびガスの供給にかかわる業務委託実施
- ・一般廃棄物および産業廃棄物の適法かつ適切な処分の実施
- ・機密文書の処分の実施（4月25日・1月15日）
- ・敷地内除草作業の実施（毎月第一月曜日）・びわこを美しくする運動（7月5日）
- ・本館棟非常灯バッテリー交換の実施
- ・本館誘導灯蓄電池修理の実施
- ・照明器具（蛍光灯・安定器）交換修理の実施
- ・各事務室空調機フィルター清掃の実施（年3回）
- ・法定設備点検（害虫駆除）の実施（6月22日・12月21日）
- ・エレベーター、自動ドア点検（年4回）・ステップリフトの点検（年2回）の実施
- ・受水槽清掃（6月7日）の実施
- ・非常用発電機疑似負荷試験の実施（5月25日）
- ・法定設備点検（受変電設備点検）の実施（6月22日）
- ・高圧ケーブル交換・埋設工事の実施（工期：8月9日～3月24日）
- ・ユニット型空調機修繕工事の実施（9月13日～20日）
- ・体育室天井照明および外灯照明LED化改修工事の実施（9月11日～10月7日）
- ・各事務室および研修室LED化改修工事の実施（11月11日～11月23日）
- ・第1研修室ドアクローザー修理の実施（1月20日）
- ・第1研修室監視モニター修繕工事の実施（3月10日） 他

④消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保並びに財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施。

実施日：令和6年7月22日（月）、12月18日（水）

⑤消防設備に関する点検等の実施

- ・消防用設備点検の実施（6月22日・12月21日）
- ・防火対象物点検資格者による防火対象物点検の実施（1月17日）

（3）縁特別会員およびの広報および会員の拡大、基金の増強

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び社協会員等、加入促進のため、広報誌やホームページ等での広報等を行った。

○縁特別会員数

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	15	82	0	16	2	115

○社協賛助会員数

	団体	個人	合計
会員数	16	7	23

（4）滋賀県善意銀行の運営

県域で実施される民間団体等の地域福祉の向上を図る活動への支援のため、「滋賀県善意銀行」として、寄付・預託の受入れと助成を行った。

①寄付・預託の受入れ

- ・株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス 車椅子2台
- ・株式会社ケーエスケー 車椅子25台
- ・関西遊技機商業組合 車椅子5台、クッション5台
- ・滋賀県宅地建物取引業協会 青年部会 車椅子10台

②助成

第32回近畿地区身体障害者施設協議会研究大会（滋賀大会）50,000円

3 職員育成・情報発信の取組

(1)「ひたすらなるつながり」を支える職員研修の実施

人材育成基本方針に基づき、職階に応じた職務遂行能力の向上の為、下記の通り、職場内部研修の実施、階層別研修等への参加により、職員の資質向上を図った。また、メンター制度を導入し新規採用職員の定着を図った。

①令和6年4月入職職員および令和5年度途中採用職員対象研修

開催日 令和6年4月 8日(月)

4月11日(木)

4月11日(木)

5月28日(火) 延べ参加：37名

②第三次経営計画研修 開催日 令和6年5月～7月(計8回実施) 参加33名

③えにし滋賀の福祉人研修

【新任期】 参加 3名

【中堅期】 参加 1名

【チームリーダー】 参加 2名

【管理職員】 参加 1名

④えにしアカデミー 3期生 2名

4期生 1名

⑤施設現場研修 参加 4名

・児童養護施設小嶋の家 令和6年10月7日(月)、10月8日(火)

・児童養護施設小嶋の家 令和6年9月25日(水)、9月26日(木)

・障害者支援施設落穂寮 令和6年10月15日(火)、10月16日(水)

・救護施設ひのたに園 令和6年10月24日(木)、10月25日(金)

⑥人権研修 開催日 令和6年10月30日(水) 参加 76名

⑦ハラスメント研修 開催日 令和7年1月(係単位で実施、17回) 参加 89名

⑧マネジメント研修 開催日 令和7年2月10日(月) 参加 10名

⑨交通安全研修 開催日 令和7年2月5日(水) 参加 94名

⑩部落解放研究第32回滋賀県集会 開催日 令和7年2月15日(土) 参加 10名

⑪社会福祉主事任用資格(全国社会福祉協議会主催) 参加1名

⑫社会福祉士実習指導者講習会(滋賀県社会福祉士会主催)

令和6年7月20日(土)、8月3日(土) 参加2名

(2) 民間福祉事業・活動の振興

①県社会福祉協議会会長表彰

開催日 令和6年11月15日(金)

会場 ホテルニューオウミ

<被表彰者>

- ・民生委員児童委員…4名
- ・社会福祉施設、社会福祉事業職員、介護老人保健施設の現業職員…89名
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の役員等…7名
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の職員…18名
- ・ボランティア(個人)…14名
- ・ボランティアグループ…18団体
- ・社会貢献活動・ボランティア活動功績企業・団体…2件
- ・福祉活動推進校…1校

<感謝>

- ・寄付42件
- ・地域福祉の推進に特に貢献している社会福祉法人または団体 6団体

なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。

<本会から推薦を行い受賞された内訳>

民生委員児童委員功労者5名、社会福祉施設功労1名、社協・団体功労者7名、
永年勤続功労者11名、社会福祉協議会優良活動1社協

②滋賀県社会福祉関係団体施策検討委員会による予算要望活動の実施

市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、令和7年度に向けた社会福祉関係予算要望及び提案を協働で行った。

要望先	実施日	場所
自由民主党滋賀県議会議員団	令和6年6月14日(金)	滋賀県庁2階 議員室
滋賀県(健康医療福祉部長)	令和6年8月30日(金)	滋賀県危機管理センター
滋賀県(子ども若者部長)	令和6年8月30日(金)	滋賀県危機管理センター
チームしが 県議団	令和6年8月26日(月)	滋賀県庁2階 第5委員会室

③社会福祉施設等関係団体との協働

「滋賀県児童成人福祉施設協議会」および「滋賀県社会福祉法人経営者協議会」の事務局受託により各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

④他団体が実施する助成事業への協力

- ・ダイロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
- ・滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
- ・オーグス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
- ・大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- ・24時間テレビ「福祉車両贈呈」への推薦協力
- ・株式会社滋賀トヨタ車輦贈呈への推薦協力

- ・「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
- ・財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力
- ⑤広報誌「季刊ひたすらなるつながり」の発行
 - 〈第13号〉 令和6年7月発行 3,000部
特集 遊べる・学べるこども食堂の今
 - 〈第14号〉 令和6年11月発行 3,000部
特 集 福祉の仕事と楽しく生きる
 - 〈第15号〉 令和7年2月発行 3,000部
特 集 助かる命が助かる滋賀へ～災害に備えて、あと一步前へ～
- ⑥ホームページ等を活用した情報の発信

ホームページを活用し、本会事業に関する特例貸付情報等の緊急や最新のお知らせ、研修等事業の情報はじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報、寄付情報等を広く情報発信した。

また、本会の発信力を高めるため、facebook・Instagramを、週2回更新し、県社協活動についてSNSで積極的に発信した。

4 関係機関との協働

(1) 民生委員児童委員委託研修の実施

①人権研修

開催日 令和6年10月25日(金)
 会 場 栗東文化芸術会館さくら 大ホール
 内 容 演劇「秋の風は二度吹く」
 演 者 劇団まちプロ一座 社会福祉法人共生シンフォニー まちかどプロジェクト内)
 参加者 337名

②民生委員・児童委員指導者(会長)研修

開催日 令和7年1月21日(火)
 会 場 滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
 内 容 講演 テーマ:委員活動の魅力が伝わる民児協運営
 講師 mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 氏
 参加者 129名

③主任児童委員研修

開催日 令和7年2月6日(木) ※午前、午後の2回に分けて開催【入替制】
 午前の部:大津市・近江八幡市・東近江市・栗東市・米原市・野洲市・湖南市
 午後の部:彦根市・長浜市・守山市・草津市・高島市・甲賀市
 日野町・竜王町・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町
 会 場 滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
 内 容 講演 テーマ:発達障害の子どもとの生活
 ~様々な人たちと共存しながら社会で生きるために~
 講師 一般社団法人チャレンジドLIFE 代表 畠中 直美 氏
 参加者 191名(午前:89名/午後:102名)

④児童委員研修【集合研修】

開催日 令和6年7月30日(火)

会場 野洲文化ホール 大ホール

内容 講演 テーマ：ネットいじめの現状と課題 ～子どもたちに何が起きているか～

講師 佛教大学 副学長 原 清治 氏

参加者 287名

⑤フォローアップ研修

開催日 集合研修 令和6年9月3日(火) ※午前、午後の2回に分けて開催

午前の部：大津市・近江八幡市・草津市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市

午後の部：彦根市・長浜市・高島市・東近江市・米原市・日野町・竜王町

愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

会場 栗東文化芸術会館さくら 大ホール

内容 講演 テーマ“相談対応の基本” ～相談者への気遣い・思いやり～

講師 コミュニケーションサポートオフィス 代表 喜山 志津香 氏

参加者 995名 (午前：533名 / 午後：462名)

動画配信 配信期間 令和6年10月10日(木)～令和7年1月10日(金)

再生回数 606回

(2) 教職員介護等体験事業の実施

・体験者数 802名

・受入施設数 142施設

・受入施設種別及び体験者数

施設種別	受入施設数	体験者数
生活保護施設	1	2
老人福祉施設	86	519
老人保健施設	9	42
障害福祉施設	39	223
児童福祉施設	7	16

5 災害時における福祉的支援の推進

(1) 滋賀県災害ボランティアセンターの運営

①災害ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

災害ボランティアセンターのコーディネートに必要な基本知識、スキルの習得を目的として開催。

日時 令和6年8月1日(木)

場所 草津市立市交流プラザ 大会議室

参加者 24名

内容 講義「災害VCのあり方について学ぶ」

演習「災害VCの機能について学ぶ」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEELDo 代表理事 栗原 英文氏

②災害VC中核運営支援者養成研修

日 時 令和7年1月17日(金) 10:30~16:30
場 所 滋賀県危機管理センター 2階 災害対策室5
参加者 15名
内容・講師

実践報告「平成30年7月豪雨における倉敷市災害ボランティアセンターの運営について～外部支援の実際と必要性について～」

講師 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長主幹 大西 龍雄 氏

キーノートスピーチ・グループディスカッション

「中核運営支援のポイントについて考える～災害時における法人支援の視点から～」

コーディネーター

コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栞原 英文 氏

一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏

倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長主幹 大西 龍雄 氏

③県災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施

災害ボランティアセンターの手順の確認、困難な状況への対応ノウハウの蓄積を目的として実施。

日 時 令和6年10月24日(木)

場 所 滋賀県危機管理センター

参加者 36名

内 容 非常体制移行訓練、初動活動訓練、現地災害VCからの依頼対応訓練、状況付与対応訓練、平常時移行訓練

④能登半島地震に伴う被災地災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣

日 時 令和6年4月2日から6月29日まで18クールから39クール

派遣職員 県社協および市町社協職員 延べ24人

派遣内容 七尾市社協災害ボランティアセンターの運営支援

⑤「令和6年能登半島」支援バスの運行について

第1回 日 時 令和6年4月13日(土)～14日(日)

活動先 七尾市災害ボランティアセンター

参加者 22名

第2回 日 時 令和6年4月20日(土)～21日(日)

活動先 七尾市災害ボランティアセンター

参加者 29名

⑥令和6年「能登豪雨災害」における災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣

日 時 令和6年10月18日から10月24日(第1班)

令和6年12月5日から11日(第4班)

派遣職員 県社協および市町社協職員 2人

派遣内容 輪島市社協災害ボランティアセンターの運営支援

(2) 災害時要配慮者支援の推進

① 県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催

要配慮者の避難及び避難生活について、平常時から支援者および当事者が課題を共有し連携を深めることで、災害時に円滑に支援できるようにすることを目的として開催した。

【全体会議】

日 時 令和6年9月18日(水)

会 場 滋賀県立県民交流センター大会議室(ピアザ淡海3階)

参加者 69名

内 容 キーノートスピーチ

「災害時における福祉的支援の強化について～災害時に『人として護られ、護る』ために～」

滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会 アドバイザー

コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栞原 英文氏

「令和6年能登半島地震被災地の当事者家族からの発信」

報告者 石川県重症心身障害児(者)を守る会 会長 永井 一郎 氏

「滋賀県における災害時要配慮者対策について～個別避難計画と福祉避難所の現状～」

報告者 滋賀県知事公室防災危機管理局 細川 優衣 氏

滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課 森 彩花 氏

【湖東圏域開催】

湖東圏域学習・意見交換会(共催 一般社団法人 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会)

日 時 令和7年3月28日(金)

会 場 彦根市保健・医療複合施設 くすのきセンター

参加者 11名

内 容 報告1「能登半島地震における被災者の声」

報告者 滋賀県社会福祉士会 災害対策委員 理事 葛城朋子 氏

報告2「しがDWA Tの活動から見える避難の課題と私たちにできること」

報告者 滋賀県介護支援専門員連絡協議会

社会福祉法人慈照会 ケアプランセンターカルナハウス 管理者 前田岳史 氏

意見交換会「介護保険事業者がしておくべき災害への備え

～事業継続と利用者・職員を守る視点から～」

② えにしの日の取組み推進

3月11日を「えにしの日」、3月を「えにし月間」として、災害時に困難を抱える人の視点で、非常時に備えた訓練や研修を行う団体に対して助成。

・取組み団体 17団体

<重点取組>

・地域コミュニティを意識した防災学・子どもの防災教育

・事業継続計画・業務継続計画(BCP)等、マニュアルの検証・見直し

・個別避難計画を活用した訓練・学習会

・子どもの防災教育

③しがDWAT チーム員養成研修等の開催

○チーム員登録状況 286名登録（令和7年3月時点）

【災害派遣福祉チーム（DWAT）養成研修】

日時 令和6年10月9日（水）

会場 滋賀県危機管理センター

参加者 54名

内容 DWATの機能と実際の支援展開を学ぶ基礎的講義・演習・チームビルディング

説明 災害派遣福祉チーム（DWAT）とは

県健康医療福祉部 健康福祉政策課 企画調整係 主事 矢向 沙映佳氏

講義・演習 被災地・被災者がおかれる状況とDWATの活動

講義 避難所および避難所生活の理解

演習 災害の進行と被災者が置かれる状況の理解

演習 被災者支援の支援主体の理解・DWATによる被災者支援の視点

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

くらしの学びサポートオフィス HumanBeing 代表 菅原 清香氏

【滋賀県災害派遣福祉チーム（しがDWAT）フォローアップ研修】

日時 令和7年1月9日（金）

会場 滋賀県庁新館7階 大会議室参加者 63名

内容 派遣活動報告「令和6年能登半島地震におけるしがDWATの派遣活動について」

コーディネーター 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

報告者 訪問看護ステーションゆげ 雨森 千恵子氏

ケアプランセンターカルナハウス 前田 岳史氏

草津市立障害者福祉センター基幹相談支援センター 中村宗寛氏

【滋賀県災害派遣福祉チーム（しがDWAT）リーダー養成研修】

日時 令和7年3月19日（水）

会場 滋賀県危機管理センター

参加者 会場 28名（うちDWAT 13名、DHEAT 6名）

オンライン 23名（うちDWAT 18名、DHEAT 5名）

内容 報告「DHEATの概要とその活動」

報告者 災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）

滋賀県衛生科学センター 主査 小林 亮太氏

報告「DWATの概要とその活動」

報告者 滋賀県災害派遣福祉チーム（しがDWAT）

特別養護老人ホーム ヴィラ十二坊 施設長 河岸 寛之氏

グループディスカッション「災害時の保健医療と福祉の連携に向けて」

～被災者支援に活かす多様な支援者の連携の必要性や具体化の検討～

コーディネーター 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

④災害派遣福祉チーム（しがDWA T）運営訓練の実施

日 時 令和7年3月11日（火）

内 容 3月11日 早朝に高島市を震源とした地震が発生したと想定し、LINEを使ったチーム員の安否確認と、チーム員の待機指示を出す情報伝達訓練を行った。

参加者 150名

修学・生活資金課

1 生活福祉資金貸付事業・要保護世帯向け不動産担保型生活資金の実施

失業や減収等により生計の維持が困難になり生活再建のための継続的な相談支援を必要とする方、障害者又は高齢者等に対し、資金貸付により自立を支援するとともに、必要な相談支援を行った。

(1) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付決定推移（本則）

（千円）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援	0	0	0	0	0	0
福祉資金	67	29,826	83	33,633	65	19,909
緊急小口	75	6,817	95	9,197	67	6,323
教育支援	273	258,186	240	244,004	315	332,438
要保護世帯不動産担保型	2	10,472	0	0	0	0
合計	417	305,301	418	286,835	447	358,671

(2) 滋賀県貸付審査等運営委員会（定例）の開催（毎月1回）

令和6年度 審査会案件 23件 会長専決案件 421件

(3) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金の債権管理

- ・借受人の状況把握と対応（居住地調査、督促、債務整理への対応など）
居住地調査（年1回）、貸付残高のお知らせ（年2回）、督促状（年2回）
コンビニ払込票（毎月償還不能先）
- ・本則 職権免除対象者 令和3年度 43人 26,625千円
（自己破産等） 令和4年度 36人 32,498千円
令和5年度 68人 61,401千円
令和6年度 50人 25,292千円

(4) 生活福祉資金担当者研修会及びスキルアップサロンの開催

《市町社協生活福祉資金実務者研修会》・・・主に資金貸付新任担当者向け研修

令和6年6月17日 市町社協生活福祉資金実務者研修会実施

- ・貸付事業の流れとポイント
- ・貸付事業の制度概要と留意事項
- ・生活福祉資金の動向・償還について

《スキルアップサロン》・・・市町社協資金担当者間の情報交換及びスキルアップ

令和6年12月5日 第一回スキルアップサロン

- ・テーマ・・・市町の担当者間の交流と意見交換

令和7年2月5日 第二回スキルアップサロン

- ・テーマ・・・市町のベテラン資金担当者の先輩と話そう

令和7年3月12日 第三回スキルアップサロン

- ・テーマ・・・令和6年度の振り返りと来年度に向けて

(5) リスタート資金貸付事業創設

滞納している、税金・公共料金・家賃・病院代および通信費等の支払いのため、毎月多額の返済に追われ、家計に大きな負担になっている方、また、返済日がバラバラで日々返済のことを考えなければならないストレスで体調を壊す方に対して、当資金で肩代わりを行って支払いの一本化を図り、返済を長期化することで、家計の安定化と心理的負担の軽減をもって、生活再建意欲の向上を図る。

- ◇ 貸付限度額 100万円以内 貸付利子 1.50% (連帯保証人ありは0%)
- 据置期間 3ヵ月 償還期間 7年以内

(6) その他

長期滞留債権比率推移

長期滞留債権・・・償還（返済）開始以降、1年以上1度も償還（返済）がない債権（千円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健全債権	1,987,347	2,066,788	2,136,219
長期滞留債権	1,546,153	1,563,877	1,605,763
貸付合計	3,533,500	3,630,666	3,741,982
長期滞留債権比率	43.8%	43.1%	42.9%

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し、就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的とし貸付事業を実施した。

(1) 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

新規貸付決定額推移

(千円)

貸付事業名	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	5	5,350	6	7,850	8	14,100	4	5,822
家賃支援費	19	15,995	11	10,868	11	13,190	10	9,096
資格取得費	5	796	10	1,521	9	1,301	9	1,550
生活支援(ｺｰﾅ)	6	3,000	0	0	0	0	0	0
家賃支援(ｺｰﾅ)	2	768	0	0	0	0	0	0
計	37	25,909	27	20,240	28	28,591	23	16,468

(2) 児童養護施設退所等自立支援資金貸付事業の広報

つながり若者センターとの協働により、児童養護施設・自立支援ホーム等に在籍する子ども及び職員に対し制度の周知・説明ならびにつながり若者センター(マザーボード・コージータウン)の居場所づくり・相談活動紹介を行った。

① 児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施

対象者 施設職員・里親

開催日・場所 令和7年1月28日 守山学園

② 若者向け「お金」の勉強会の実施

対象者 児童養護施設入所者および児童養護施設職員、つながり若者センター利用者

開催日・場所 令和6年11月17日 コージータウン

令和6年12月12日 オンライン

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保護等の業務に従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。養成施設を卒業後、滋賀県内の施設等において保育業務に一定期間以上(修学資金5年、その他2年等)従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

保育新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育士修学	124	179,511	99	115,472	97	134,316	107	156,156
保育補助者雇上	2	9,564	2	17,714	2	17,635	2	17,655
保育料一部	74	16,735	84	18,608	76	17,467	101	23,002

就職準備金	51	19,039	67	24,597	30	10,444	42	11,193
子ども預かり	0	0	0	0	0	0	0	0
計	213	225,925	251	224,846	252	176,391	252	208,006

令和6年度保育士修学資金 新規受付養成校実績

	R3	R4	R5	R6		R3	R4	R5	R6
滋賀短期大学	26	22	19	21	龍谷大学短期大学	10	8	1	5
華頂短期大学	21	8	13	4	京都文教短期大学	8	2	7	1
滋賀文教短期大学	14	6	7	10	その他	31	38	39	49
びわこ学院大学短期	14	15	11	17	合計	124	99	97	107

(2) 保育士修学資金等資金返還免除推移 (千円)

返還免除	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	219	169,747	224	212,171	227	213,546	257	206,593

(3) 保育士修学資金等資金返還推移 (千円)

返還	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	479	27,607	611	33,731	462	38,010	454	20,907

(4) 保育士修学資金等貸付事業の広報

- ① 滋賀県保育協議会との連携による求職者への情報提供・就職フェア参加
 - 令和6年8月25日 守山市役所(保育のしごと就職フェア)
 - 令和6年9月7日 琵琶湖ホテル(同)
 - 令和7年1月18日 イオンモール草津(保育のしごとマッチングフェスタ)
- ② 保育士養成校への制度説明(びわこ学院大学および短期大学部・滋賀短期大学)
- ③ 県内の高校、保育所等への募集要項・貸付広報チラシ配布

4 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

介護人材育成、確保及び定着を支援するため、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生に対して修学資金貸付事業を実施した。

介護福祉士修学資金の申請者数が外国人留学生を中心に増加傾向にある中、離職による新規返還決定者も一定数おり、業界内での介護人材確保に向けた職場環境の整備状況等の勤務環境はまだ課題がある。

これらの貸付金は、滋賀県内の施設等において介護等の業務に一定期間以上(修学資金5年、福祉系高校3年、その他2年)従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 介護福祉士修学等貸付の状況

介護新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護福祉士修学	44	68,350	33	52,520	55	84,500
福祉系高校修学	1	300	1	300	0	0
実務者研修受講	108	17,896	82	12,712	110	16,046
介護人材再就職	23	7,940	16	5,647	8	2,061
介護分野就職	25	4,853	14	2,746	10	1,557
障害分野就職	4	786	9	1,666	4	461
福祉系返還充当	0	0	1	300	1	360
計	205	100,125	155	75,891	188	104,985

介護福祉士修学資金新規受付養成校実績

(件数)

	R4	R5	R6		R4	R5	R6
華頂社会福祉 専門学校	17	10	29	京都医療福祉 専門学校	5	4	5
びわこ学院大学 短期大学部	14	7	11	その他	6	8	6
京都福祉専門学校	2	4	4	合計	44	33	55

(2) 介護福祉士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	158	54,558	209	88,715	180	66,462

(3) 介護福祉士修学等資金返還推移

(千円)

返還	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	173	10,051	244	15,012	197	8,139

(4) 介護福祉士修学資金貸付事業の広報

① 県内の高校、施設事業者等への募集要項や広報チラシの配布

② 弊会人材センターとの協調し、人材確保に向けた広報と離職時の届出数(制度)増加に向けた取組

特例貸付相談支援室

1. 特例貸付債権管理

特例貸付については、基本的には令和7年1月より一部の猶予者および免除済者を除き、すべての債権が償還開始時期を迎えている。

これについて、生活福祉資金課および特例事務センターにおいて、償還金管理および償還免除・償還猶予手続きに関する事務手続き、ならびに審査業務を行った。

債権状況	債権数 59,030	概算世帯数 21,889	全債権割合 100%
免除	23,837	9,290	40.4%
返済猶予	1,334	624	2.3%
償還実績あり	15,275	8,164	25.9%
償還実績なし	13,081	6,054	22.2%
繰り上げ返済先	4,788	4,508	8.1%
債務整理先	715	273	1.2%

※数値は令和7年3月末時点

なお、貸付金額 24,096,857 千円のうち、令和7年3月末時点の償還実績額は 2,004,668 千円 (8.3%)、免除額は 9,523,738 千円(39.5%)であった。

2. 特例貸付フォローアップ支援

特例貸付利用者に対して、フォローアップ支援の一環として戸別訪問を行い、利用者やその家族の生活実態把握や、諸手続き未了者には手続きの勧奨および完了援助、また生活上の困りごとを把握した際には市町社協とも連携の上個別相談対応を行った。

そのほか海外にルーツを持つ利用者への対応として、外国語対応可能な職員による訪問、またコールセンターでの多言語対応も行った。

加えて、身近な相談先においても多言語対応可能となるよう、「みえる通訳」を使用可能とするタブレットについて、各市町社協へ貸与した。

(1) 特例貸付利用者に対するフォローアップ支援（訪問）件数（令和6年度実績）

訪問件数	面談成立数	面談率
20,763 件	6,175 件	29.7%

(2) 猶予・免除に関する休日相談会

償還困難な利用者に対して、猶予・免除に関する休日相談会を4回開催し、延べ61名の参加者の相談に応じた。

休日相談会（全4回）

令和6年11月16日（土） 長寿社会福祉センター 参加者 15名

令和6年12月8日（日） COZY TOWN 参加者 20名

令和7年 3月15日(土) COZY TOWN 参加者15名
令和7年 3月23日(日) 長寿社会福祉センター 参加者11名

(3) 出張相談会

各市町社協および滋賀県社協への来会相談が困難な借受人への対応として、エルティ草津（介護・福祉人材センター、サブルーム）において、社会福祉士による出張相談を行った。

毎週水曜日 エルティ草津（介護・福祉人材センター サブルーム）

3. 特例貸付利用者に対する福祉的支援に関する調査研究

(1) 特例貸付利用者のくらしに関するアンケート調査の実施

特例貸付利用世帯支援に関する調査研究の3か年計画における2年目調査として、貸付利用者のニーズに対応した生活再建の支援策を具体化することを目的に、昨年度調査の追跡調査を実施した。

- ・調査対象：滋賀県で特例貸付・総合支援資金（初回）を利用し、現在、県内に居住する人18,706名から無作為抽出した9,392名。（緊急小口資金のみは除外）なお、調査対象者については昨年度調査と同様で、昨年度対象の10,227人のうち転居等の方を除外。
- ・調査方法：郵送による調査票を送付、記入後返送・Webフォームによる回答
- ・調査期間：令和6年10月18日～11月29日（昨年度調査：10月20日～11月30日）
- ・回収率：有効回収数 3,083件 有効回収率 32.83%（3,083 / 9,392件）
（昨年度調査：有効回収数3,299件 有効回収率32.26%）

(2) 調査研究にかかる研修の実施（社協職員対象）

- ・研修名：「社協職員スキルアップ講座～調査活動のイロハ～」
- ・開催日：令和6年12月18日(水) 13時30分～16時30分
- ・場所：キラリエ草津401会議室
- ・参加者数：20名（うち県社協8名）
- ・登壇者：日本福祉大学 斎藤雅茂教授 福定正城氏
- ・内容：調査の意義に関する講義、調査票作成に向けたグループワーク 等

地域福祉課

(滋賀県ボランティアセンター)

(滋賀県権利擁護センター)

1. 第43回滋賀県社会福祉学会の開催

(1) 滋賀県社会福祉学会 第43回大会の開催

開催日 令和7年2月21日(金)

会場 県立長寿社会福祉センター

参加者 322人

開催方法 完全参集型

①自由研究発表 17題、実践報告 16題 全6分科会 33題

②奨励賞の授与

受賞者 7名

・「五感による認知症緩和ケアへの介入～刺激介入による自律神経の変化について」
フレイル認知症予防研究センター 井阪 尚司氏

・「ハラスメントのない介護福祉施設であるために
ーハラスメント対策研修とその考察ー」

一般社団法人 滋賀県老人福祉施設協議会 松田 のり子氏

・「ホームページを活用したチーム作り～アートディレクターと歩んだ7年の成果～」
一般社団法人 no-de 高木 伸齊氏

・「社会的養護における自立支援としてのハローわくわく体験事業の可能性」
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 栗野 友美佳

・「デザイン思考で取り組む地域共生社会の推進」
社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 山岡 伸次氏

・「ビワマックス活動から見える相互支援の可能性
～生きづらさを抱える人による高齢者の生活支援活動～」

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 福本 礼子氏

・「防災福祉マップでつながる地域の安心～見える化で広がる見守りの輪」
社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 前田 智博氏

2. 滋賀社会福祉研究第26号の発行

令和7年10月の発刊に向けて構成の確定、執筆依頼等の準備を進めた。

3. 近畿地域福祉学会滋賀大会(R7.12)の開催に向けた機運醸成の取り組み

(1) 県内市町村協職員の参加促進

会長会より参加費助成を実施。10名が参加した。(県社協含む)

(2) 調査研究にかかる研修の実施

「社協職員スキルアップ講座～調査活動のイロハ～」開催(再掲)

開催日 令和6年12月18日(水) 13時30分～16時30分
場所 キラリエ草津401会議室
参加者数 20名(うち県社協8名)
登壇者 日本福祉大学 斎藤雅茂教授 福定正城氏
内容 調査の意義に関する講義
調査票作成に向けたグループワーク 等

4. 社会福祉協議会職員の研修と交流(滋賀県市町社会福祉協議会会長会事務局)

(1) 社会福祉協議会職員の研修と交流

① トップセミナーの開催

開催日 令和6年7月19日(金)
会場 キラリエ草津
内容 「地域共生社会の政策(施策)における
権利擁護支援の位置づけと社協の役割」
講師: 全国社会福祉協議会 副会長 古都賢一氏
参加者 59名

② 市町社協新任職員研修の実施

<1日目>

開催日 令和6年7月30日(火)
会場 中主防災コミュニティセンター
内容

<午前>

オープントーク「ようこそ社会福祉協議会」

<講師>野洲市社協 地域福祉課長 富田 由紀子さん

「先輩職員からのメッセージ

～業務別、テーマ別に分かれていろいろ聞いてみよう!～」

<午後> 接遇対応&仕事の進め方研修

<講師>株式会社しがぎん経済文化センター 河野 若菜 氏

参加者 30人

<2日目>

日時 令和7年2月25日(火)
場所 県立長寿社会福祉センター
内容

<午前> 講演「社協を巡る状況と社協職員に期待されること」

滋賀県社会福祉協議会 事務局次長 高橋 宏和

<午後> グループワーク「1年を振り返ろう!元気をもらおう!」

参加者 20人

③ コミュニティワーク基礎研修の開催(県社協との共催)

日時 令和6年8月30日(金)

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容

- ・講義Ⅰ「社会の情勢と地域福祉」
- ・講義Ⅱ「地域福祉と社会福祉協議会」
- ・演習Ⅰ「コミュニティワーク実践のプロセスの理解」
- ・講義Ⅲ 意見交換「研修の振り返り」

講 師 武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文 氏

話題提供 東近江市社会福祉協議会 地域福祉課 中西 知史 氏

柴田 遙 氏

参加者 14人

④マネジメント研修の開催（県社協との共催）

日 時 令和7年2月10日（月）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 講義・演習「“人財”を育てる！指導力を養成する！」

講師 コミュニケーションサポートオフィス 喜山志津香 氏

参加者 26人（県社協職員含む）

⑤事務局長会議の開催（県社協との共催※災害関係除く）

第1回

開催日 令和6年4月30日（火）

会 場 県立長寿社会福祉センター

内 容 市町社協関係事業等について

第2回

開催日 令和6年12月24日（火）

会 場 県立長寿社会福祉センター

内 容 講義「権利擁護支援と社会福祉協議会の役割について」

講師：同志社大学 社会学部 教授 永田 祐氏

⑥会長・事務局長合同会議の開催（幹事：彦根市社協）

開催日 令和6年11月13日（水）

会 場 COZYTOWN

内 容 ①開会挨拶

②「彦根市におけるひきこもり支援と参加支援の取組について」

【報告者】

医療法人遙山会 南彦根クリニック 藤井 美悠紀 氏

彦根市社会福祉協議会 地域支援課長 森 恵生 氏

③意見交換

5. 滋賀県権利擁護センターの取組推進

(1) 地域福祉権利擁護事業の推進

①生活支援員／新任職員研修会の実施

生活支援員や新しく専門員となった職員を対象に、実務を進める上で必要となる基本的な知識の習得や相談のきき方、意思決定支援等を学び、担当同士のつながりをつくるための研修を開催した。

【1日目】令和6年6月20日（木） 参加者 22名

内 容 講義1「地域福祉権利擁護事業における権利擁護の視点と
相談の基本を学ぶ」

講師：龍谷大学社会学部 特任教授 山口 浩次 氏

講義2「知的障害者の理解と支援について」

講師：特定非営利活動法人りあん 主任相談支援専門員 染井将仁 氏

【2日目】令和6年6月27日（木） 参加者 16名

内 容 講義1「精神障害者の理解と支援について」

講師：フクシのみらいデザイン研究所 精神保健福祉士

／龍谷大学社会学部 非常勤講師 和泉 亮 氏

講義2「認知症高齢者の理解と支援について」

講師：びわこ福祉の杜 代表 中原 一隆 氏

【3日目】令和6年11月22日（金） フォローアップ研修会 参加者 12名

内 容 ・実践報告 先輩専門員の実践に学ぼう！

「地域福祉権利擁護事業の日々の支援で大切にしていること」

報告：米原市社会福祉協議会 自立生活支援専門員 高橋規宏 氏

・グループワーク 「チーム支援について」、「地権事業のやりがい」、
「利用者や支援関係者との関係づくりについて」

コーディネーター：龍谷大学社会学部 教授 山口浩次 氏

②専門員会議の開催

支援現場の課題に対応するテーマを設定し、広域調整に向けた議論の場として開催した。

【第1回】令和6年8月19日（月） 参加者 21名

内 容 意見交換 「他市町社協への移管について」

「担当者が抱えている課題について」

アドバイザー 龍谷大学社会学部 特任教授 山口 浩次氏

土井法律事務所 弁護士 堀田 直美 氏

【第2回】令和6年12月13日（金） 参加者 25名

内 容 講義「地域福祉権利擁護事業の専門員だから見えること」

講師 龍谷大学社会学部 特任教授 山口 浩次氏

情報共有 ①利用料の現状について

②滋賀県契約締結審査会の実施状況について

③地権事業におけるマイナンバーカードの取り扱いについて

④移管の際の情報共有について ⑤契約書変更の考え方について

意見交換 「身元保証問題を読み解く～地権事業の現場から～」

助言：土井法律事務所 弁護士 堀田 直美 氏

③権利擁護担当部課長勉強会（第3回市町社会福祉協議会事務局長会議）の開催（再掲）

【日時】令和6年12月24日（火） 参加者 31名

内 容 ・講義「権利擁護支援と社会福祉協議会の役割について」

講師：同志社大学 社会学部 教授 永田 祐氏

・「地域福祉権利擁護事業あり方検討会」報告書について

報告：地域福祉権利擁護事業あり方検討会 座長 市川忠稔

・意見交換

④地域福祉権利擁護事業の研修及び会議に関する企画検討会議の開催

【日時】令和7年3月6日（木） 参加者7名

⑤契約締結審査会の開催

令和6年度：1回開催 令和6年5月9日（木）（審査案件 1件）

⑥地域福祉権利擁護事業を実施する市町社会福祉協議会への支援

ア 市町社協への支援（助言、訪問等）

・各市町社協の個別ケースへの相談を受け付け、助言を行った。（38件）

・運営適正化委員会が行う定期現地調査に同行し、助言内容にかかる個別支援を行った。

（大津市社協、彦根市社協、近江八幡市社協、守山市社協、栗東市社協、甲賀市社協、日野町社協、竜王町社協、愛荘町社協、多賀町社協）

イ 各市町社協における契約状況等に関する集計

各市町社協における利用者種別ごとの相談援助件数等の集計と全社協への報告の実施

・契約件数（単位：人）

R5 年度末	R6 契約締結	R6 契約終了	R6 年度末
1,480	197	210	1,480

⑦支援関係者とのよりよい連携に向けた活動

- ・支援関係者向け地域福祉権利擁護事業パンフレットの作成（3,000部）
- ・市町社会福祉協議会と滋賀銀行の意見交換会の開催
開催日 令和6年12月13日（金）

(2) 将来を見据えた地域福祉権利擁護事業のあり方検討

- ・地域福祉権利擁護事業及び関連する権利擁護支援の諸事業の成り立ちと課題整理を行ったうえで、将来を見据えた地域福祉権利擁護事業のあり方について意見交換し、今後の方向性と具体的な方策結果を報告書にまとめて関係者へ周知した。（R5年度1月検討会発足）
- *検討委員 10名（市町・県社協、市・県、成年後見関係団体、学識経験者）

【第3回】 令和6年5月14日（火）

内容・検討テーマ1

- 「地域福祉権利擁護事業の市町社協事業における位置づけについて」
- ・検討テーマ2
「市町の福祉施策における地域福祉権利擁護事業の位置付けについて」
- ・今後の予定について

【第4回】 令和6年7月14日（火）

内容・検討テーマ3 「権利擁護支援の連続性と継続性の確保について」

- ・検討テーマ4 「滋賀県権利擁護センター」の役割について
- ・今後の予定について

【第5回】 令和6年9月3日（火）

内容・検討会報告書（案）について

- ・今後の取り組みについて

(3) 各圏域権利擁護サポートセンターの運営等への参画

主に下記委員会に委員として出席し、適宜情報提供および助言等を行った。

- ・長浜市成年後見・権利擁護センター運営委員会
- ・彦愛犬権利擁護サポートセンター運営委員会
- ・米原市権利擁護センター運営委員会・権利擁護支援向上委員会
- ・各圏域のなんでも相談会への協力（3圏域 計5回）

(4) 権利擁護にかかわる団体との連携、関係者会議への参画

- ・成年後見・権利擁護センター、成年後見制度に関わる団体等の会議等への参画
- ・障害者自立支援協議会事業部会への参画
- ・滋賀県成年後見制度利用促進協議会への参画
- ・人権啓発ネットワーク会議への参画

6. 社会とのつながりづくりの推進

(1) ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業の推進

1) ひきこもり電話相談の実施

①定期電話相談（週1回）

実施曜日・時間 毎週木曜日13時～17時

相談件数 104件（新規38件、継続51件、調整15件、再開0件）

※新規には一斉電話相談の件数を含む。

②県内複数地域での一斉電話相談会（年2回）

ひきこもりに悩む当事者や家族の不安感を少しでも和らげ、また啓発を目的とし一斉電話相談を実施した。

14機関13箇所（3機関が新規参画）

実施機関：滋賀県社会福祉協議会、さわらび福祉会、大津市社会福祉協議会、

彦根市社会福祉協議会、草津市社会福祉協議会、

守山市社会福祉協議会、栗東市社会福祉協議会、

甲賀市社会福祉協議会、野洲市社会福祉協議会、

つながり応援センターよろず（高島市社会福祉協議会）、虹の会、東近江市社会福祉協議会、愛荘町社会福祉協議会、

豊郷町社会福祉協議会

実施日（第1回） 令和6年9月12日（木）、13日（金）相談件数新規18件

（第2回） 令和7年2月13日（木）、14日（金）相談件数新規10件

③電話相談員向け研修（1回）

実施日 令和6年9月2日（月）

講演 「電話相談の実際とその先の支援へ」

講師 岡山県立大学 特任准教授 周防美智子 氏

参加者 17名

2) 保健福祉圏域におけるアウトリーチ支援体制づくり

訪問支援（アウトリーチ）を1圏域で実施した。

①高島圏域 虹の会による個別支援の実施

支援対象者：6人

訪問実績：年間延べアウトリーチ回数 6名 全56回

※「自宅に来られるのは抵抗がある」という人には、支援員がミズカフェココ（「虹の会」運営カフェ）へアウトリーチし、そこで面談されるなど工夫して実施。

3) 保健福祉圏域におけるひきこもり支援関係者のネットワークづくり

①各保健福祉圏域における支援関係者のネットワーク構築

県ひきこもり支援センターと連携のもと、各圏域におけるひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加し、先進事例の情報収集および他圏域への情報提供を行った。

また、事業の具体化にあたってのバックアップおよび関係機関の調整に加え、電話相談ケースにかかる支援調整および一斉電話相談参画機関の拡大を図った。

i ネットワークづくり

ア. 各圏域のひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加
実践や課題の共有、情報・意見交換、1機関で抱えない連携した支援を実施するためのネットワークの構築および強化を図った。

[湖南圏域] 湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委員会 [年3回]

[甲賀圏域] 甲賀市ひきこもり支援ネットワーク会議 [年1回]

はたらく体験プロジェクト事務局会議 [年6回]

はたらく体験 [毎月1回]

[湖東圏域] 彦根市ひきこもり支援ネットワーク会議 [年2回]

アウトリーチ支援チーム会議の開催

[年4回中、第1回に参加]

[湖北圏域] 湖北地域ひきこもり情報交換会 [年1回]

[高島圏域] つながり応援支援者ネットワーク会議 [年2回]

イ. フォーラム開催支援等

・湖南圏域において実行委員会（草津・栗東・守山・野洲市の4市社協、
県社協）を設置し、フォーラムを開催

講 演 ひきこもり支援を考えるフォーラム

『ひきこもりの対話的支援～生きづらさを知る～』

講 師 筑波大学名誉教授 斎藤 環 氏

開催日 令和7年2月1日（土）

会 場 キラリエ草津 大会議室

参加者 125名

ii 地域における啓発、居場所づくり等への支援

・助成団体 16団体

・助成額 1,536,000円

① 支援者同士の情報共有・連携を目的としたひきこもり支援に関する社会資源
マップの配布、県内の支援機関が活用できるプラットフォームの運用

i 『ひきこもり支援資源マップ』の活用

研修会、各種会議において適宜配布

ii 『ひきこもり者等支援者ネットワークしが』の運用

4) 県域および保健福祉圏域での家族支援の実施

誰もが利用しやすく、安心して参加でき、そして互いに共感し自己肯定感を感
じることができる場として地域の支援機関と協力し家族教室を実施した。

本会場とあわせてサテライト会場を複数カ所設置（オンライン活用）

i 開催日 令和6年11月30日（土）

会 場 本会場：野洲

サテライト会場（3カ所）：彦根、長浜、米原

講師 ジャーナリスト 池上 正樹 氏
「ひきこもり当事者への理解」

参加者 50名

ii開催日 令和7年1月21日(火)

会場 本会場：県立精神保健福祉センター
サテライト会場(7カ所)：7保健所

講師 佛教大学保健医療技術学部作業療法学科教授 漆葉 成彦 氏
「ひきこもりの理解と家族の関わり方」

参加者 75名

5) 働く場づくり「はたらく体験」、居場所づくりの推進

①県社協はたらく体験の企画実施

実施数 月1回 計12回

参加者 のべ113人

内容 屋外作業：縁の杜散策路整備および腐葉土作製
※腐葉土(容積約9ℓ、4kg入を98袋 総額21,000円を
売り上げ、はぐくみ基金に寄付)
屋内作業：はぐくみプロジェクトTシャツ等封入作業、
車いす・福祉用具整備清掃、イベント準備、パソコン入
力等の作業

連携機関・団体

滋賀県地域若者サポートステーション、大津市社会福祉協議会、
滋賀県ひきこもり支援センター、大津市保健所、草津市保健所、
川辺のとまり木

① 支援(サポート) 機関による支援プラン会議の開催 月1回 計12回

② 県社協での居場所づくり 「PCスポット!ポチポチいこか」の企画実施

実施数 月1回 計10回

参加者 延べ32名

6) 地域啓発・啓発資材の整備

ひきこもり資源マップ更新版の2025年6月発行に向けて作成準備をすすめた。

7) ひきこもり・働きづらさ支援推進委員会の開催

県域でのひきこもり支援関係者による情報・意見交換の場である、ひきこもり・働きづらさ支援推進委員会を2回開催した。

実施日・場所 令和6年12月17日(火) 県立長寿社会福祉センター
令和7年3月14日(金) 県立長寿社会福祉センター

参画機関 長浜市社協、近江八幡市社協、守山市社協、
滋賀県社会就労事業振興センター、
滋賀県地域若者サポートステーション、八身福祉会、

甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』、虹の会、
県立精神保健福祉センター、県障害福祉課

(8) 民生委員児童委員等ひきこもり支援に関する研修会の開催

社会的孤立状態にある当事者や家族と関わる機会がある民生委員や高齢分野の支援機関等を対象に、理解を深め、地域で支えるための研修会を行った。

① 「ひきこもり支援のための研修会」

開催日 令和6年10月16日(水)

※午前の講座は県立精神保健福祉センター「県民講座」を兼ねる

会場 県立長寿社会福祉センター 大教室、第1研修室

参加者 52名

講師 ノートルダム清心女子大学人間生活学部 准教授 中井 俊雄 氏

滋賀県立精神保健福祉センター 主席参事 清水 光恵 氏

大津市社会福祉協議会 扇田 宗親 氏

岡山県立大学 特任准教授 周防 美智子 氏

(2) 女性のつながりサポート事業

① 憩いと相談の場づくり

- ・居場所提供協力団体数：33 団体（子ども食堂 26 団体、その他 7 団体）

合計 725 回開催

参加者延べ 7,390 名（女性 3,603 名、子ども 2,139 名、他 1,648 名）

開催場所：12 市 1 町

（大津市、栗東市、草津市、守山市、草津市、近江八幡市、甲賀市、東近江市、彦根市、米原市、高島市、日野町、長浜市）

- ・コージータウンでの居場所提供（COZY TOWN café + カモミール）

合計 8 回 参加者延べ 31 名（女性のみ）

第1回：「アロマでリラックス（アロマセルフハンドトリートメント）」

講師：県社協職員 望月 温美

参加者：4 名（託児 4 名）

第2回：「美味しいおにぎりづくり」

講師：県社協職員 田中 裕子

参加者：3 名（託児 0 名）

第3回：「なりたい自分になるワーク」

講師：産後指導士・彦根ママパス代表 原田 絢子 氏

参加者：5 名（託児 1 名） 見学 2 名

第4回：「私の輝く瞬間（助産師からの話）」

講師：ゆらり助産師 田中 美穂 氏

参加者：2名（託児1名）

第5回：「自分のからだを感じる時間（バランスボール体験）」

講師：バランスボールインストラクター 酒村 有紀 氏

参加者：5名（託児3名）

第6回：「知っていますか？リトルベビーのこと」

講師：滋賀のKOAYU 代表 小島 かおり 氏

参加者：5名（託児4名）

第7回：「自分を輝かせるために（時のマヤ暦®）」

講師：熊川 裕美子 氏

参加者：3名（託児0名）

第8回：「防災～いざという時の備え、できていますか？～」

講師：県社協職員（防災士） 葛城 朋子 氏

参加者：4名（託児0名）

・協力団体向けの研修会・交流会の開催

開催日：令和6年11月14日（木）

内容：①講演「サポートする」ってどういうことでしょうか？

講師：滋賀県人権センター 副理事長 森 由利子 氏

②グループトーク

テーマ：周知方法、行政との連携・困りごとへの対応等

参加者：8名（8団体）

②生理用品の配布

配布先：県立施設15か所、県立学校39校、その他26団体

配布数：合計3,110個

(3) 中高年障害者の居場所づくりの推進

知的障害のある人が身近な地域で休みの日に“ほっ”と過ごせる居場所づくりを、

①高齢者施設を活用した居場所、②地域を拠点とした居場所（サロン等）を想定

し、顔なじみのある地域づくりをすすめていくための企画検討を行った。

(4) 生活困窮者自立支援事業従事者研修の実施

生活困窮者自立支援法に基づく自立支援事業等の実施に当たり、多様で複合的な課題を有する生活困窮者への包括的な支援が適切に行えるような専門性を習得するための研修を実施した。県

内の自立相談支援機関の初任者向けの研修を1回(3時間)、初任者を含めたすべての相談員向けの研修を2回(2日間)にわたって実施。主任相談支援員、相談支援員および就労支援員として配置されている者等を対象に、生活困窮者自立支援制度の理念と基本姿勢、地域の情報を伝えるとともに、受講者同士の交流を図ることなどを目的とした。

<前期研修>

- ・初任者向けにソーシャルワーカーの基本的な支援姿勢について、県独自の半日(3時間)にわたる研修を開催した。

日 時：令和6年6月19日(水)、13:30~16:45

会 場：滋賀県立県民交流センター305会議室(ピアザ淡海3階)

内 容：①行政説明(生活困窮者自立支援制度を通して目指すもの、生活困窮者自立支援の各事業について)

②講義「支援員に求められるソーシャルワークの基礎

～『一人』を大切にすする支援と『一人』が大切にされる地域づくりのためのソーシャルワーク～

(研修講師)同志社大学 社会福祉学部 教授 空閑 浩人氏

③参加者同士でのグループトーク

参加者：50名(現地：27名 オンライン23名)

<後期研修>

- ・2日間にわたり、集合形式で合計10.5時間以上の研修を開催した。

【1日目】

日 時：令和7年1月23日(木) 10:00~16:30

会 場：県立長寿社会福祉センター 第3・4研修室

内 容：①行政説明(制度の概要と県内の状況について)

②報告「コロナ特例貸付利用者支援の現状と今後の予定」

(報告者)滋賀県社会福祉協議会 特例貸付相談支援室 室長 堤 泰助

③講義「支援員に必要なソーシャルワークの基本

～『つながり続ける』ことを支える

支援と『孤立しない・させない地域づくり』の展開～

(研修講師)同志社大学 社会福祉学部 教授 空閑 浩人氏

④参加者のグループトーク+発表

(テーマ：「相談支援の仕事に就いて思うこと」)

参加者：29名

【2日目】

日 時：令和7年2月19日(火) 10:00~16:30

会 場：県立長寿社会福祉センター 午前：大教室 午後：第3・4研修室

内 容：①行政説明「自立支援法の法改正について

(居住支援にかかわる法改正について)」

②講義「居住支援の現状・課題と施策について」

(研修講師)大阪人間科学大学 人間科学部 准教授 石川 久仁子氏

③報告「その人らしさを支える～居住支援を通して～」

(報告者) 社会福祉法人 岸和田市社会福祉協議会 吉村 渉氏
④報告「居住支援法人の取組み」

(報告者) 滋賀県湖南圏域居住支援法人ネットワーク協議会
尾畑 聡英氏、高田 英亮氏

(コーディネーター) 龍谷大学社会学部 現代福祉学科 特任教授
山口 浩次氏

(コメンテーター) 大阪人間科学大学 人間科学部 准教授
石川 久仁子氏

※参加者同士のグループトーク+質疑含む

参加者：28名

(5) 生活支援コーディネーター研修の実施

<滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修>

日時：令和6年10月3日(木) 10:00~16:00

会場：滋賀県立県民交流センター305会議室(ピアザ淡海3階)

内容：【講義】「生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターの役割」

(研修講師) ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保氏

【実践報告】

①「地域を活性化する協議体活動」

(報告者) 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 山岡 伸次氏

②「生活支援活動づくり~東桜谷おしゃべり会の事例を通じて~」

(報告者) 社会福祉法人 日野町社会福祉協議会 橋元 成子氏
東桜谷おしゃべり会 会長 外山 章氏

③「包括支援体制づくりにおける生活支援コーディネーター

~彦根市社協の実践から~」

(報告者) 社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会 森 恵生氏

※参加者のグループトーク+質疑含む

参加者：34名

<フォローアップ事業>

(1) 市町行政担当者研修

日時：令和6年8月22日(木) 13:30~16:00

会場：県立長寿社会福祉センター 第3・4研修室

内容：【講義】「生活支援体制整備事業を活用した地域づくりについて」

(研修講師) 厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課
地域づくり推進室 地域包括ケア推進係
係長 原 伊吹 氏

【グループディスカッション】「講義を聞いて印象に残ったこと」

「自分の市町の取組はうまくいっているか？」

(ファシリテーター) 一般社団法人ケアSNAP たかしま

代表理事 杉本 学士 氏

参加者：18名

(2) ヒアリング調査

- ①彦根市 ②草津市 ③守山市 ④栗東市 ⑤甲賀市 ⑥野洲市 ⑦湖南市
⑦米原市 ⑨日野町 ⑩愛荘町 ⑪豊郷町 ⑫甲良町 ⑬多賀町

(3) 生活支援コーディネーター情報交換会

日時：令和7年2月5日（水）9:30～12:00

会場：県立長寿社会福祉センター 体育室

内容：【報告】

- ① 「生活支援体制整備事業の取組状況について
～令和6年度滋賀県生活支援体制整備事業実施状況調査の結果から～」
（報告者） 滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課
- ② 「令和6年度生活支援体制整備事業フォローアップ事業（ヒアリング）の結果を踏まえた情報交換のテーマ設定について」
（報告者） 滋賀県社会福祉協議会地域福祉課

【情報交換】 ワールドカフェ方式

「協議体の〇〇について」 / 「サロン2030」 /

「住民主体の見守りのコツとは？」 / 「移動支援を分解する」

・参加者 32名

<滋賀県生活支援体制整備事業推進会議>

【第1回】

日時：令和6年7月1日（火）10:00～12:00

会場：県立長寿社会福祉センター 第4研修室

内容：令和6年度事業の方向性について市町行政担当者研修について企画検討

【第2回】

日時：令和6年11月28日（木）10:00～12:00

会場：県立長寿社会福祉センター 用具センターミーティングルーム

内容：ヒアリング状況共有、生活支援コーディネーター情報交換会の企画検討

【第3回】

日時：令和7年3月4日（火）10:00～12:00

会場：県立長寿社会福祉センター 会議室

内容：令和6年度事業のふりかえり、地域支援事業実施要綱および介護予防・日常生活総合事業のガイドラインの一部改正について 等

7. 子どもを真ん中においた地域づくりの推進

(1) 子どもの笑顔はぐくみプロジェクト

①子どもの笑顔のスポンサーと子ども食堂等とのマッチング

- ・市町社協との連携による、スポンサー活動の効果的なコーディネートへの検討
- ・スポンサーへの丁寧な報告による、サポート活動の促進

新規：31件（団体11件、個人20件）

合計：615件（団体454件、個人161件）

- ・はぐくみ基金への寄付の推進

はぐくみ基金への寄付収納（物品等金額換算分を含む）30,731,245円

- ・広報啓発活動の推進

ホームページ、Facebook、Instagramを活用した情報配信

広報紙の発行

「はぐプロ通信 ～お礼レポート&活動報告号～」(令和6年5月発行)

「はぐプロ通信 vol. 5」(令和6年9月発行)

「はぐプロ通信 vol. 6」(令和6年11月発行)

「はぐプロ通信 vol. 7」(令和7年2月発行)

「子ども食堂だより vol. 15」(令和6年12月発行)

「子ども食堂だより vol. 16」(令和7年2月発行)

- ・スポンサーからのサポート(提供)に係るマッチング

バローグループによる県内店舗でのフードドライブとのマッチング

長浜市内店舗 2件、守山市内店舗 2件

甲賀市内店舗 1件、栗東市内店舗 2件

- ・日世株式会社との商品寄贈に関する協定の締結

- ・フードパントリーの開催 延べ参加団体数449団体（17市町）

（子ども食堂139か所、フリースペース5か所）

第1回（令和6年4月18日）参加数：48団体

第2回（令和6年6月27日）参加数：44団体

第3回（令和6年8月19日～9月13日）参加数：80団体

第4回（令和6年10月1日～11月29日）参加数：79団体

第5回（令和6年12月2日～令和7年1月31日）参加数：105団体

第6回（令和7年2月3日～3月31日）参加数：93団体

②みんな集まれ！遊べる・学べる淡海子ども食堂フェスタの開催

開催日：令和6年11月9日（土）

参加者：563名（内、一般参加者373名）

内容：子ども食堂コーナー、ステージコーナー、遊びコーナー、展示等

(2) 遊べる・学べる淡海子ども食堂推進事業

①市町社協との協働による「子ども食堂プロジェクトチーム（仮称）」の設置と子どもの声を聴くワークショップの開催

- ・市町社協や子ども食堂関係者等の情報交換の場づくり
- ・子ども・若者を取り巻く現状を共有する機会づくり

第1回会議：令和6年7月30日（子ども食堂関連の事業計画等の説明）

第2回会議：令和6年12月4日（むすびえとの共催による大交流会）

登壇者：1. 日世株式会社 びわ湖工場

プレスト生産部 技術保全課 課長 村上 仁宏 氏

2. 株式会社 平和堂 総務課 課長 西 政明 氏

3. 子ども食堂「にじいろ」（日野町） 代表 奥野 ふじみ 氏

4. 田上っ子食堂（大津市） 代表 大塚 光子 氏

5. きゅるあ（東近江市） 代表 山本 美佳 氏

6. みまもり食堂（大津市） 代表 岡野 祐太 氏

第3回会議：令和7年2月28日（奈良県社協との共催による実践力向上研修）

ファシリテーター：しがNPOセンター 西川 実佐子 氏

【話題提供・実践報告】

登壇者：守山市社会福祉協議会 地域福祉課 主任 柳 大地 氏

奈良県社会福祉協議会 地域福祉課 課長 岡本 晴子 氏

奈良市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 北野 直紀 氏

【グループワーク】

テーマ：子ども食堂支援における社協の期待・役割とは？

～子ども食堂支援の今とこれからのを考える～

②子ども食堂つながりネットワーク SHIGA の運営と研修・交流会の実施

第1回：令和6年 7月30日「子ども食堂大交流会」

参加者：子ども食堂実施団体 24名（17団体）、行政・市町社協7名

（テーマ）子ども食堂のこれからのことについて

各所機関との連携について

食材・資金確保について 等

第2回：令和6年 9月10日「子ども食堂でのアレルギー対応」

講師：子ども食堂スマイルシード代表 笹畑 美佐子 氏

（滋賀県立小児保健医療センター看護師、アレルギー疾患療育指導士）

参加者：子ども食堂実施団体 15名（10団体）、市町社協1名

第3回：令和6年11月19日「子ども食堂での衛生管理」

講師：滋賀県 生活衛生課 食の安全推進室 森本 寮 氏

大津市保健所衛生課 食品指導係 佐々木 雄一 氏

参加者：子ども食堂実施団体 25 名（19 団体）、行政職員 1 名

第4回：令和6年12月10日「子ども食堂での防犯対策」

講師：滋賀県草津警察署 生活安全課 生活安全係 吉田 竜哉 氏

参加者：子ども食堂実施団体 9 名（6 団体）、市町社協 1 名

③子ども食堂の立ち上げおよび活動継続支援

- ・新規立ち上げ子ども食堂（ネットワーク加入数） 29 か所
（年度末現在の子ども食堂か所数（ネットワーク加入数）計 231 か所）
- ・開設支援助成 23 食堂（1 団体あたり 100 千円、総計 2,300 千円を助成）
- ・保険料助成による安心・安全な場づくりの促進
ボランティア行事用保険 助成団体数：64 件 合計 839,135 円
ボランティア活動保険 助成団体数：27 件 合計 83,350 円
- ・学びサポート事業による活動助成
申請件数：14 件（29 食堂） 合計 289,360 円

④滋賀の子ども・若者のほほえむ力サポート事業（物価高騰対策）

- ・物価高騰のなかで子どもを真ん中においた活動に取り組む子ども食堂等の取組を支援

助成要件：令和6年4月1日から令和7年3月31日に「うれしい・たのしい体験」を子ども食堂において提供すること。1 団体あたり年間上限 120 千円（1 回あたり 10 千円、12 回分までが対象）

助成実績：団体数 130 団体（子ども食堂 121 団体、フリースペース 9 団体）
助成金額合計 12,230 千円

8. 地域養護の推進

（1）滋賀県地域養護推進事業

①つながり若者センターマザーボード、つながり若者センターコージータウンの運営

- ・相談支援と居場所活動の取組を推進

【つながり若者センターマザーボード】

相談支援実績（実人数 129 名）

生活相談	就労相談	医療相談	法律相談	計
2,253 件	492 件	117 件	175 件	3,037 件

【つながり若者センターコージータウン】

相談支援実績（実人数 56 名）

生活相談	就労相談	医療相談	法律相談	計
866 件	210 件	83 件	16 件	1,175 件

【居場所活動】

・つな若キッチン

献立決め、食材の買い出し、調理および後片付けまでを、若者とスタッフが一緒に行った。予算を意識した買い物、調理技術の獲得、作業を通じた自然なコミュニケーション機会の創出などを目的として、全12回実施した。

会場を固定せずに県内各地で開催し、居住エリアによる参加しにくさの軽減にも配慮した。若者22名（延べ26名）、その他20名（延べ65名）が参加した。

・つな若ダイニング

若者とスタッフが一緒に夕食を摂りながら生活状況の聴取を行い、困りごとの早期発見につなげた。10回開催し、若者24名（延べ79名）、その他17名（延べ60名）が参加した。

・つな若コージー食堂

コージータウンカフェにて、若者とスタッフが一緒に夕食を摂りながら生活状況の聴取を行い、困りごとの早期発見につなげた。11回開催し、若者11名（延べ69名）、その他6名（延べ45名）が参加した。

・OEKAKI 会&コージー食堂

日中活動が定まっていない若者に対して、イラスト等の創作活動など社会参加機会を提供した。12回開催し、若者12名（延べ73名）、その他9名（延べ49名）の若者が参加した。

・交流サロン兼コージー食堂

日中活動が定まっていない若者に対して、革製品の創作活動など社会参加の機会の提供を行った。11回開催し、若者13名（延べ72名）、その他7名（延べ45名）が参加した。

- ・その他、居場所活動に継続参加している若者を対象に、交流と社会参加の応援を目的に、コージータウン近隣地域の協力者によるウォークラリーと交流のつどいや、単立ちイベントとしてお金の勉強会（修学資金係と協働）、「先輩たちの一人暮らし生活記録」、「施設・里親のリービングケアアイデア集」を作成した。

② 滋賀県地域養護推進協議会との協働による若者を地域で支える取組の推進

・「若者の自立支援について考える研修会」の開催

開催日：令和7年1月22日

場 所：県立長寿社会福祉センター

講 師：京都ユースサービス協会 竹田明子 氏

参加者：39名

- ・児童養護施設の自立支援担当者等、地域養護に従事する職員の学習交流（月1回）

(2) ハローわくわく体験事業の推進

- ・事業充実に向けた今後のあり方を協議する検討会の開催

第1回会議：令和6年9月30日（月）

ハローわくわく体験事業の現状および課題の整理

第2回会議：令和7年1月28日（火）

具体的方策の検討

- ・中高生対象の「仕事体験」 計：延べ8名、体験7企業

ア. 夏休み 参加者3名、企業3社

イ. 冬休み 参加者2名、企業2社

ウ. 春休み 参加者3名、企業3社

- ・小学生の「工場・職場見学」 計：延べ18名、見学11企業

ア. 夏休み 見学者7名、企業4社

イ. 冬休み 見学者7名、企業5社

ウ. 春休み 見学者4名、企業2社

- ・協力企業の開拓および登録

協力企業・事業所数：198企業・事業所（新規開拓6企業・事業所）

- ・キャリアアップセミナー

子どもたちが自身の将来について具体的に考えるきっかけとするため、小中学生対象のセミナーを6月に開催し、中高生対象のセミナーを12月に開催した。

- ア. 第1回キャリアアップセミナー 小中学生対象

開催日：令和6年6月1日（土）

場 所：県立長寿社会福祉センター

内 容：《すきなもののビンゴ&お仕事マップ》

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

講 師：NPO法人 くさつ未来プロジェクト

宇津木由香 氏、浜本 博志 氏、他ナビゲーター15名

参加者：小学生24名、中学生13名、職員29名 計66名

- イ. 第2回キャリアアップセミナー 中高生対象

開催日：令和6年12月7日（土）

場 所：県立長寿社会福祉センター

内 容：“自分を知る”ことをさらに深め、人が本来持つ“気質”の側面からアプローチするプログラム。自分自身の“気質”を知り、他のタイプの気質を知ること、自分を肯定し、他者も尊重することができ、他者への関わりのヒントを得る。

講 師：一般社団法人C&F協会 TRUE COLORS

友井 真人 氏、中野 満知子 氏 他4名
参加者：中学生7名、高校生14名、職員12名 計33名

・プレキャリアアップセミナー

子どものキャリア教育プログラムの効果を高めるため、生活を共にする大人（施設職員、里親）に向けた研修。

施設職員および里親が事前に本プログラムを行うことで、子どもたちのセミナーへの参加を促す。

開催日：令和6年10月10日(木)

場 所：県立長寿社会福祉センター

内 容：第2回キャリアアップセミナーと同じ内容

講 師：一般社団法人C&F協会 TRUE COLORS 友井 真人 氏 他3名

参加者：施設職員33名、里親2名 計35名

・中高生対象のプロフェッショナルセミナー

各児童養護施設等を会場にして実施

ア. 小嶋の家 開催日：令和6年11月16日（土）

参加企業 4社5名

参加数 児童15名、職員10名

イ. 湘南学園 開催日：令和6年6月30日（日）

参加企業 4社7名

参加数 児童13名、職員18名

ウ. 守山学園 開催日：令和7年1月18日（土）

参加企業 4社8名

参加数 児童 9名、職員11名

エ. 鹿深の家 開催日：令和7年2月22日（土）

参加企業 3社6名

参加数 児童 7名、職員 4名

オ. さざなみ学園 開催日：令和7年3月28日（金）

参加企業 1社5名

参加数 児童 7名、職員3名

・小中学生対象の「しがの子ども仕事体験PARK」

開催日 令和6年8月2日（金）

参加企業 12社 35名

参加数 児童65名、職員35名

(3) 地域における要支援児童等の居場所“フリースペース”づくり

①社会福祉施設やNPO等と連携したフリースペースづくり

フリースペース箇所数：20か所

(定義拡大による増：5か所、新規開設：2か所、再開1か所)

②フリースペースの理解促進のための地域支援者研修会

テーマ：「生きづらさを抱える子どもの今と未来を繋ぐ地域の居場所づくりを考える」

～企業・団体・学校・行政・社協の連携が生み出す力とは～

1日目：令和7年1月20日(月)

参加者65名(企業・団体30名、行政・社協32名、ボランティア3名)

2日目：令和7年2月3日(月)

参加者57名(企業・団体31名、行政・社協23名、ボランティア3名)

研修コーディネーター：龍谷大学 社会学部 教授 山田 容氏

登壇者：草津市立教育研究所 恒松 睦美氏

大津市子ども・子育て安心課 麻生 いつみ氏

高島市社会福祉協議会 是永 麻記子氏

特別養護老人ホーム カーサ月の輪 日比 晴久氏

草津市子ども未来部 子ども家庭・若者課 日向 勇人氏

草津市子ども未来部 家庭児童相談室 山元 すずか氏

特別養護老人ホーム えんゆうの郷 遠藤 健一郎氏

③運営者同士がゆるやかにつながる交流会の開催

第1回：令和6年12月23日(月)

参加者13名(実施団体6名(5団体)、行政・社協7名)

第2回：令和7年2月3日(月)

参加者約30名(研修終了後のアフタートークの場において開催)

④地域におけるフリースペースのネットワーク構築支援

フリースペース実施団体、市町社協、SSW、行政それぞれ推進委員として参画いただき、3回の推進委員会を開催した。内容としては、各機関からの状況・トピックの共有および研修会の企画、その他フリースペースの拡大に向けての取り組みについて協議を行った。

第1回：令和6年6月24日(月) 13:30～15:30

第2回：令和6年9月26日(木) 15:30～17:00

第3回：令和6年11月15日(金) 15:00～16:40

9. 滋賀県ボランティアセンターの運営

(1) 淡海フィランソロピーネットとの協働事業の推進

①企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催

開催日 令和7年3月13日(木)

会場 びわ湖大津プリンスホテル 淡海

参加者数 70名

内容 テーマ「国スポ・障スポ2025 まで あと半年！」

滋賀をスポーツで元気にするために企業・団体が期待されること」

登壇者 日本生命 陸上選手 桐生祥秀 氏

株式会社平和堂 小椋 秀男 氏

滋賀県国スポ・障スポ大会局 辻 睦弘 氏

進行 びわ湖放送アナウンサー 塚本京平 氏

② 企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催

開催日 令和6年12月5日(木)

会場 草津市立市民交流プラザ 大会議室

参加者 44名(淡海フィランソロピーネット会員30名、会員外14名)

内容 講演「令和6年能登半島地震から学ぶ

～市民、学生、企業の支援活動と災害時の連携・協働支援を考える～」

講演 『令和6年能登半島地震 被災地の現状と期待される支援活動』

講師 NPO法人さくらネット 代表理事／

能登福祉救援ボランティアネットワーク代表 石井布紀子氏

被災企業からの報告

報告者 株式会社平和堂 北陸営業部長 杉山茂生 氏

滋賀県内学生の支援活動

報告者 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

萩原千絵 氏 ・ 細見恭大 氏

レイカディア振興課

1 滋賀県レイカディア大学の運営(草津キャンパス/彦根キャンパス)

高齢者に新しい知識と教養を身につけるための学習機会を提供し、社会参加を促すことにより、地域における担い手を養成し、地域貢献に寄与することを目的としてレイカディア大学を運営した。

(1) 楽しく豊かに生きるための基礎講座および選択講座の実施

◆楽しく豊かに生きるための基礎講座(令和6年4月～令和7年3月)

学習領域	主な学習内容	学習時間(実績)
------	--------	----------

		1年前期 (46期)	1年後期 2年前期 (45期)	2年後期 (44期)
豊かに 生きる	新しい生き方、人生のヒント	[草津] 60時間 (16日)	[草津] 122時間 (32日)	[草津] 68時間 (18日)
健康 づくり	からだの健康、こころの健康、 つながりと健康、食と運動			
社会参加	ボランティア活動と社会貢献 活動、情報・SNS			
くらしと 地域	滋賀の魅力発見、自然と環境、 お金と就労、くらし	[彦根] 56時間 (15日)	[彦根] 116時間 (31日)	[彦根] 60時間 (16日)
学校行事	オリエンテーション、入学式、 卒業式、地域活動体験学習、課 題学習、ニュースポーツ大会、 大学祭、自主活動、各種部会			

◆選択講座

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）			
		1年前期 (46期)	1年後期 2年前期 (45期)	2年後期 (44期)	合計
園芸学科 [草津 /彦根]	樹木管理の基本、巨木・名木を 訪ねる、果樹と野菜の栽培管 理、剪定実習、郷土料理づく り、花壇づくり 他	44時間× 3クラス	88時間× 2クラス 92時間× 1クラス	44時間× 3クラス	532時間 (133日)
陶芸学科 [草津]	陶芸の基本、作陶、素焼、施釉、 本焼、陶芸の歴史 他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
びわこ環 境学科 [草津]	琵琶湖の環境保全、伊吹山の 自然観察、湖北の治水、野鳥観 察、里山保全、郷土料理 他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
地域文化 学科 [草津]	郷土理解、地域学・民俗学、近 江の歴史と文学、近江の食文 化、観光資源とボランティア 他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
北近江文 化学科 [彦根]	北近江の歴史と文化、古地図 で訪ねる、観光資源とボランテ ィア、近江と文学、地域学 他	44時間	92時間	44時間	180時間 (45日)

健康づくり 学科 [草津 /彦根]	健康と運動、クイーツ、ヨガ、 高齢期のこころとからだの健 康、食と栄養、調理実習、介護 予防の心得、ウォーキング 他	44 時間× 2クラス	88 時間× 1クラス 92 時間× 1クラス	44 時間× 2クラス	356 時間 (89 日)
合 計		396 時間 (99 日)	804 時間 (201 日)	396 時間 (99 日)	1,596 時間 (399 日)

【 学生数 (人)】

(令和7年3月31日現在)

	草津キャンパス						彦根キャンパス						合 計								
	45 期生		46 期生		計		45 期生		46 期生		計										
園芸 A	19	7	0	24	11	0	43	18	0	22	15	0	23	12	2	45	27	2	88	45	2
		12	0		11	2		23	2		7	0		9	0		16	0		39	2
園芸 B	17	8	0	24	12	1	41	20	1										41	20	1
		9	0		11	0		20	0									20		0	
陶芸	21	13	0	25	13	2	46	26	2										46	26	2
		8	0		10	0		18	0									18		0	
びわ環	20	11	2	22	14	0	42	25	2										42	25	2
		7	0		8	0		15	0									15		0	
地域/ 北近江	22	16	0	28	16	0	50	32	0	17	9	0	20	10	0	37	19	0	87	51	0
		6	0		12	0		18	0		8	0		10	0		18	0		36	0
健康	24	11	0	22	5	0	46	16	0	18	4	0	20	6	0	38	10	0	84	26	0
		13	0		17	0		30	0		14	0		13	1		27	1		57	1
計	123	66	2	145	71	3	268	137	5	57	28	0	63	28	2	120	56	2	388	193	7
		55	0		69	2		124	2		29	0		32	1		61	1		185	3

※ 上段：男性、下段：女性。網掛けは、リカレントコース履修生数（外数）。

【 学生募集・入学状況 (46 期生)】

	草津キャンパス	彦根キャンパス	計
定員	145 人	70 人	215 人
応募者	195 人	76 人	271 人
入学者	154 人	63 人	216 人
入学/定員	106.2%	90.0%	100.5%

① 地域活動体験学習

在学中に地域活動(ボランティア活動)を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らづくり、体験を通じて地域の人々と共に課題に取り組む力を身につけた。

② 課題学習

学生自らが課題を見出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、仲間づくり・まちづくりの取り組み方法を身につけ、卒業後の活動へとつなげた。

③ 大学祭

日頃の学びを展示・発表することを通じて、学習効果をより一層高めるとともに、仲間との交流を深め、学びを共有することができた。

〔草津キャンパス〕 開催日 令和6年7月25日(木)～7月27日(土)

会 場 県立長寿社会福祉センター

〔彦根キャンパス〕 開催日 令和6年7月19日(金)～7月20日(土)

会 場 COZY TOWN (アル・プラザ彦根 4階)

(2) 公開講座の実施

レイカディア大学の学びを体験できる機会、認知度向上および卒業生の活躍の場として公開講座を実施し、あわせて大学説明会を行った。

① 公開講座・大学説明会

〔草津キャンパス〕 2回開催 参加者数 計43名

〔彦根キャンパス〕 2回開催 参加者数 計24名

② 学科見学会・学科説明会

〔草津キャンパス〕 15回開催 参加者数 計152名

〔彦根キャンパス〕 6回開催 参加者数 計42名

(3) 卒業後の地域活動に向けたサポートの強化

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポートの会と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的には学生生活の支援・学生募集活動、レイカディア大学ホームページの運用管理、シニアの学び舎の発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

(4) 滋賀県レイカディア大学運営委員会の開催

開催日 令和6年10月30日(水)

内 容 レイカディア大学の現状、カリキュラムの内容、レイカディア大学の今後について 他

(5) 他府県シニア大学との交流

サポートの会が京都 SKY シニア大学へ出講し、地域活動や生きがい、健康づくり等について意見交換を行った。

開催日 令和6年7月30日(火) 10:00～12:00

会 場 京都新聞文化ホール

参加者数 草津・彦根サポートの会：8名 京都 SKY シニア大学学生 25名

2 アクティブシニアの健康と生きがいづくりの推進

高齢者のスポーツ・文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが活動に参画することにより、健康や生きがいづくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流促進、社会参加の拡大を推進した。

(1) ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会：計 25 種目開催

【スポーツ等交流大会】 21 種目

種 目	実 施 日	会 場
卓 球	5月18日(土)	能登川アリーナ
テニス	4月8日(月) 22日(月)	滋賀県希望が丘文化公園テニスコート
ソフトボール	4月29日(月・祝) 5月6日(月・祝)	皇子山総合運動公園多目的運動広場
ゲートボール	5月15日(水) 5月9日(木)・ 10日(金)	甲賀市甲南町グラウンド 米原市スパーク山東
ペタンク	5月12日(日)	大津市和邇市民運動広場
マラソン	11月10日(日)	近江八幡市立運動公園周辺
剣 道	5月19日(土)	滋賀県立武道館
グラウンド・ゴルフ	9月4日(水) ～10月20日(日) 11月29日(金)	守山市民運動公園 他 滋賀県希望が丘文化公園GG場
太極拳	6月16日(日)	ひこね市民文化プラザ
ソフトバレーボール	4月21日(日)	甲賀市水口体育館
サッカー	5月6日(月)	ビックレイク
ウォークラリー	5月26日(日)	大津市国体広場
オリエンテーリング	6月29日(土)	なぎさ公園
弓 道	5月18日(土)	プロシードアリーナ HIKONE
水 泳	5月19日(日)	滋賀県立障害者福祉センター
ラグビーフットボール	5月19日(日)	ビックレイクグラウンド
ゴルフ	9月30日(月) 11月8日(金)	信楽カントリー倶楽部 ジャパンエースゴルフ倶楽部
ダンススポーツ	6月23日(日)	守山市民体育館
ターゲットバードゴルフ	4月11日(木)	杣川運動公園 新杣川河川敷コース
バウンドテニス	5月12日(日)	大津市瀬戸公園体育館
ローイング	5月25日(土)	関西みらいローイングセンター (滋賀県立琵琶湖曹艇場)

【文化等交流大会】 4種目

種 目	実 施 日	会 場
囲 碁	4月27日(土)	滋賀県立彦根東高等学校第2別館2階会議室
将 棋	4月7日(日)	コミュニティセンターやす
俳 句	10月26日(土)	大津市勤労福祉センター
健康マージャン	4月28日(日)	草津市立市民交流プラザ

【次年度大会説明会】

開催日 令和7年2月1日(土)

開催会場 県立長寿社会福祉センター

(2) 全国健康福祉祭とっとり大会へ滋賀県選手団を派遣

① 滋賀県選手団結団式・全体説明会

開催日 令和6年9月25日(水)

開催会場 滋賀県立長寿社会福祉センター

② 第36回全国健康福祉祭 とっとり大会

開催日 令和6年10月19日(土)～22日(火)

開催地 鳥取市ほか

(3) 第33回レイカディア美術展の開催

・出品全作品の展示

開催日 令和6年5月29日(水)～6月2日(日)

会場 COZY TOWN (アル・プラザ彦根4階)

作品数 180点(日本画11点、洋画44点、彫刻4点、工芸20点、書45点、
写真56点)

来場者数 535名

・入賞・表彰作品の展示

開催日 令和6年6月4日(火)～6月9日(日)

会場 滋賀県立美術館 1階 ギャラリー

来場者数 627名

・審査会の開催

開催日 令和6年5月26日(日)・27日(月)

会場 COZY TOWN (アル・プラザ彦根4階)

内容 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞、奨励賞)、
表彰(アクティブシニア表彰)の審査

・表彰式の開催

開催日 令和6年6月9日(日)

会場 滋賀県立美術館 1階 木のホール

対象 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞、奨励賞)、
表彰(アクティブシニア表彰)

・実行委員会の開催

3回開催(令和6年2月5日(月)、5月13日(月)、7月29日(月))

・展示会の動画を配信

3 アクティブシニアに関する情報の発信

中高年者の生きがい・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報および健康に関する情報等を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりの意識を高めた。

(1) レイカディア通信（アクティブシニア世代情報誌）の発行

- ・第15号：令和6年10月発行、3,600部発行
テーマ：「アクティブシニア座談会 楽しく豊かに生きるコツ」
- ・第16号：令和7年3月発行、3,500部発行
テーマ：「eスポーツ×アクティブシニア 仲間づくりと健康づくりにeスポーツを」

(2) びわこシニアネットの運営及び情報発信

- ・ボランティアによるHP更新：毎週月・木曜日、ボランティア登録者数4名
更新回数 48回
- ・びわこシニアネットアクセス件数
2025.3.31現在：282,041件
2024.4.1～2025.3.31アクセス数：6,825件 1日平均18.6件

(3) レイカディアえにしの会との協働による卒業生の地域での活躍を発信

びわこシニアネット内に、レイカディア大学卒業生の地域活動の検索システム「生きがいの森」において、在学生の活動のきっかけとなる情報を掲載した。
検索数968件（4月～3月）

しがレイカディア・エクステンションセンター（SLEC）

(1) 友活講座の開催

趣味・生きがいづくり、社会参加・貢献に活かせるスキルを身につけることを目的に講座を企画し実施した。今年度は全ての講座をレイカディア大学卒業生(グループ)を講師として計13回開催し、延べ163名が参加した。

講座名	内容	講師	会場	開催日	参加者数
オリジナル紙芝居創作講座 《5日間コース》	自分だけのオリジナル紙芝居を制作。制作した紙芝居の発表と講評。	レイカディアえにしの会 (坂 早百合氏)	彦根	6月20日	8
			彦根	7月30日	7
			彦根	8月27日	6
			彦根	9月24日	7
			彦根	10月18日	8
バルーンアートボランティア養成講座 《2日間コース》	バルーンアートの基礎とバルーンを使ったレクリエーションを体験。	レイカディアえにしの会 (Sボラ)	彦根	6月26日	14
			彦根	7月3日	17
苔玉づくり講座	苔と四季折々の草花を使ったオリジ	レイカディアえにしの会	彦根	7月23日	8

	ナルの苔玉づくり。	(41樹会)			
スマホ活用 基本講座	スマホを楽しく便利に操作するために、LINE や SNS などの基本を学ぶ。	レイカディア えにし の会 (野川篤美氏)	彦根	9月19日	15
			彦根	2月12日	27
寄せ植え講座	クリスマスからお正月にぴったりの寄せ植えづくり。	えにし の会 (41樹会)	彦根	12月11日	9
陶芸講座 (入門編) ≪2日間コース≫	信楽の土を使用して、手びねりで作陶。	レイカディア えにし の会 (研修教育部会 みな窯クラブ オカリナ Rainbow)	多賀	2月4日	19
			多賀	2月19日	講師作業のみ
			多賀	2月25日	講師作業のみ
			多賀	3月5日	18
合 計					163名

(2) ベース友活の開催

参加者が話したいテーマについて話題提供しそれを材料に対話するテーマトークと、対話だけでなく体験活動を交えて交流するワークショップを、COZYTOWN カフェ交流スペースで開催した。全23回開催し、延べ290名の参加があった。

月	日	内 容		話題提供者(講師)	参加者数
4	8	テーマトーク	お花見宴会&トーク	なし	11
	25	テーマトーク	会員によるテーマトーク	前田 邦博氏(えにしの会)	12
5	8	テーマトーク	会員によるテーマトーク	小崎 保信氏(一般会員)	10
	24	ワークショップ	エンディングノート作成と身じまい	葛城 朋子(事務局)	10
6	12	テーマトーク	会員によるテーマトーク	前川 和秀氏(えにしの会)	13
	28	ワークショップ	バランスボールに挑戦	インストラクター 伊吹 みさき氏	11
7	10	テーマトーク	会員によるテーマトーク	谷田川 真紀子(事務局)	15
	26	ワークショップ	栄養学の基礎知識& 体質改善スープ 試飲	佐々木料理学院 学長 佐々木 喜範氏	9
8	7	ワークショップ	苔玉づくり	なし	15
	23	ワークショップ	コミュニケーション麻雀	大家 要造氏(一般会員)	12
9	11	テーマトーク	「お金のこと」	ライフプランナー 小西 淳一氏	16
	27	ワークショップ	そば打ちデモンストレーション&	佐々木料理学院	11

			打ち立て蕎麦の試食	佐々木 悦子氏	
10	4	テーマーク	会員によるテーマーク	中川 豊太郎氏(えにしの会)	15
	21	ワークショップ	ハンドドリップコーヒー で美味しい珈琲を入れよう	なし	12
11	1	ワークショップ	会員による紙芝居(実演)	北村 由子氏、溝井 和江氏 澤 清行氏、澤邊 雅子氏 (えにしの会)	19
	18	テーマーク	妖怪ばなし	芹川の河童 代表 川崎 敦子氏	12
12	6	ワークショップ	バランスボールに挑戦	インストラクター 伊吹 みさき氏	14
	16	テーマーク	会員によるテーマーク	澤 清行氏(えにしの会)	10
1	20	ワークショップ	落語寄席と新年会	一萬歩 歩夢(いちまんぼあ ゆむ)氏	14
2	7	テーマーク	会員によるテーマーク	小島 栄太郎氏(えにしの会) とご家族(娘さん、お孫さん)	13
	17	テーマーク	会員によるテーマーク	堀井 宏氏(えにしの会)	15
3	7	ワークショップ	「包丁式」の見学(和菓子つき)	佐々木料理学院 佐々木 悦子氏	11
	17	テーマーク	フリートーク	なし	10
合計					290名

(3) SLEC推進委員会の開催

えにしの会より7名の方を推進委員として迎え、計10回開催した。学びの場としての「友活講座」、集う場としての「ベース友活」、シニアの社会参加の基盤としての「ともいきプラットフォーム」の循環により、健康寿命の延伸とシニアライフを豊かにする取り組みを具現化するための基本計画「SLEC マスタープラン」を策定した。

【人材部門】

滋賀県介護・福祉人材センター

1 多様な人材層の参入促進(「滋賀の福祉人」の確保)

(1)現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽CAFÉ」の開催

・学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの実感を、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図るために「ふく・楽CAFÉ」を実施した。

①高校での「ふく・楽CAFÉ」

センター区分	開催日	会場	学年 人数	講師
くさつ	令和6年 9月19日(木)	日野高校	福祉系希望 1年30人	人材センター
	令和6年 10月21日(月)	日野高校	健康福祉系列2 年35人	(福)湖東会、(福)やまびこ (特非)りゅうおう (福)ひかり会守山学園
	令和6年 11月26日(火)	滋賀学園高校	福祉系希望 2年24人	(福)ほのぼの会 (福)汀会、(福)小嶋会
	令和6年 12月6日(金)	栗東高校	1年7人	人材センター
	令和6年 12月20日(金)	綾羽高校	全校生徒 593人	介護福祉士会
	令和7年 1月21日(火)	日野高校	3年14人	(福)日野友愛会
	令和7年 2月13日(木)	八幡高校	普通科看護系2 年48人	(福)六心会、(福)大木会 (福)ひかり会守山学園
ひこね	令和6年 12月12日(木)	愛知高校	2年13人	しがケアアンバサダー 人材センター
	令和6年 12月18日(水)	伊香高校	1年1人	介護福祉士会
	令和7年 1月20日(月)	彦根総合高校	2年13人	(福)湖東会
合 計			778人	

②地域での「ふく・楽CAFÉ」

センター区分	開催日	会場	人数	講師
くさつ	令和6年	大津市勤労者福祉セ	30人	(福)湖青会、ケンセイ介護

	8月21日(水)	ンター		(株)、(株)あいむ、(福)野洲慈恵会、(福)にぎやか会、(福)椎の木会
	令和6年 12月16日(月)	長寿センター	72人	現任同士の交流会 県内の先輩職員3名 県内コーディネーター1名
	令和6年 12月20日(金)	長寿センター	77人	現任同士の交流会 県内の先輩職員3名 県内コーディネーター1名
ひこね	令和6年 11月30日(土)	長浜市商工会議所	5人	(福)長浜市社会福祉協議会、 (福)近江薫風会
	令和6年 12月9日(月)	COZYTOWN	24人	現任者同士の交流会 県内の先輩職員3名 県内コーディネーター1名
合 計			208人	

(2)福祉職場へのインターンシップ等の実施

①高校生向け「職場体験」

・高校生を対象に、介護・福祉職場での体験を通して、具体的な仕事の内容、魅力ややりがい、実際の職場の雰囲気などを知ってもらうことにより、介護・福祉分野への理解を深めるとともに、介護・福祉分野への進路選択の意欲を高める契機とすることを目的として実施した。全体で6高校の生徒の参加となった。

体験受入登録事業所数	事業所 117(高齢 97、障害 13、児童 6、その他 1)
体験実施期間	令和6年5月13日(月)～令和7年3月7日(金)
体験者数	6人(くさつ 3人、ひこね 3人)

②大学生・社会人向け「助成金付きインターンシップ」

・介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知ってもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認のうえ、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	事業所 128(高齢 106、障害 14、児童 6、その他2)
体験実施期間	令和6年5月13日(月)～令和7年3月7日(金)
体験者数	55人(くさつ 52人、ひこね 3人)
うち就職者※	7人(くさつ 7人、ひこね 0人)

※就職者数は体験先以外を含む

(3)福祉の職場見学バスツアーの開催

介護・福祉の仕事に興味のある学生や求職者に、介護の職場を実際に見ていただくことにより、介護現場を知ってもらうために開催。

センター 区分	開催日	参加人数	参加法人
くさつ	令和6年 7月27日(土)	高校生 7名 専門学校生 1名 大学生 1名	(福)びわこ学園 (特非)ゆうらいふ (福)若竹会 (福)誠光福祉会
	令和6年 10月5日(土)	高校生 4名 専門学校生 1名	(福)ほのぼの会 (福)汀会 (福)洗心福祉会 (福)しがらき会
ひこね	令和6年 9月11日(水)	社会人 6名	(福)近江幸楽会 (福)湖北会
	令和7年 3月2日(日)	大学生 2名 社会人 6名	(福)青祥会 (福)滋賀県障害児協会

(4)カイゴとフクシ就職フェアinしがの開催

介護・福祉職場と求職者とのマッチングの場として「カイゴとフクシ就職フェアinしが」を開催した。

(対面形式で12回開催)

※2月の就職フェアの採用者数は令和7年度に集計を行う。

2024年度「カイゴとフクシ就職フェアinしが」開催状況														
開催日	会場	出展法人数	来場者数			クオカード(4もしくは5法人以上訪問)	1法人あたりフリス訪問者数(平均)	採用者数			見学者数			
			学生	うち下回生	社会人			学生	社会人	学生	社会人			
6/15(土) I部	滋賀県庁	15	22	2 9%	0 0%	20 91%	9 (40.9%)	4.1	1	0	1	32	3	29
6/15(土) II部	滋賀県庁	15	16	2 13%	2 13%	14 88%	10 (62.5%)	3.7	1	0	1	36	4	32
6/22(土) I部	アル・プラザ彦根	12	22	4 18%	0 0%	18 82%	14 (63.6%)	6.1	2	0	2	31	9	22
6/22(土) II部	アル・プラザ彦根	11	22	9 41%	0 0%	13 59%	14 (63.6%)	6.9	3	1	2	42	12	30
6/29(土) I部	フェリエ南草津	15	40	14 35%	5 13%	26 65%	21 (52.5%)	8.4	0	0	0	33	13	20
6/29(土) II部	フェリエ南草津	15	33	10 30%	5 15%	23 70%	18 (54.5%)	6.7	1	0	1	37	19	18
		83	155	41 26%	12 8%	114 74%	86 (55.5%)	6.0	8	1	7	211	60	151
2/15(土) PM	北ビワコホテル グライツィエ	19	34	3 9%	3 9%	31 91%	28 (82.4%)	5.0	0			0		
2/24(月) PM	クサツエストピアホテル	32	74	14 19%	14 19%	60 81%	61 (82.4%)	6.4	0			0		
3/8(土) PM	琵琶湖ホテル	30	82	16 20%	16 20%	66 80%	59 (72.0%)	7.5	0			0		
		81	190	33 17%	33 17%	157 83%	148 (78.0%)	5.3						
合計		164	345	74	45	271	234		8	1	7	211	60	151

(5)介護に関する入門的研修の開催

- ・介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21 時間)を実施した。
(入門コースカリキュラム内容 ※は基礎コース)

	時間		内容
1日目	9:30~ 9:45		オリエンテーション※
	9:45~11:15	1.5 時間	介護に関する基礎知識※
	11:30~13:00	1.5 時間	介護の基本※
	14:00~16:00	2 時間	障害の理解
2日目	10:00~16:00	10 時間	基本的な介護の方法
3日目	10:00~16:00		
4日目	9:30~11:30	2 時間	介護における安全確保
	12:30~16:30	4 時間	認知症の理解
	16:30~16:45		修了式

(開催日程等)

区分	日程	会場	参加者数	就職者数
くさつ	令和 6 年 5 月 28 日(火) 5 月 29 日(水)	高島市総合健康 福祉センター	10人	3人

	5月30日(木) 5月31日(金)			
	令和6年 7月16日(火) 7月17日(水) 7月18日(木) 7月22日(月)	県立長寿社会福祉センター	11人	1人
ひこね	令和6年 11月14日(木) 11月19日(火) 11月20日(水) 11月21日(木)	COZYTOWN	16人	3人
	令和6年 12月10日(火) 12月11日(水) 12月12日(木) 12月13日(金)	セミナー&カルチャーセンター 臨湖	13人	1人

(6)離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	合計
届出者数	120	201	153	132	101	83	790

②「(再)就職支援セミナー」および「福祉のお仕事入門セミナー」の開催

- ア. 介護職場への就労支援のため、主に離職介護福祉士等を対象に「(再)就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、介護・福祉人材センターによる「介護の職場で働くにあたっての支援制度」の説明や「ミニ相談会」も実施し、参加者が見学や面接など次のステップへ進みやすいプログラムとした。

センター区分	開催日	会場	人数	講師
くさつ	令和6年 10月23日(水)	福祉用具センター	2人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
	令和7年 3月19日(水)	用具センター ミーティングルーム	4人	(福)近江ちいろば会 小原氏
ひこね	令和6年 10月26日(土)	COZY TOWN	6人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
	令和7年 3月1日(土)	長浜カイコー	3人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
合 計			15人	

イ、「福祉のお仕事入門セミナー」は令和3年9月から開始した事業であり、介護・福祉分野の仕事に関心をもつ方に、分野ごとの仕事の内容や職種、福祉の資格、求人の現状や傾向、就職活動の方法などについて、人材センター相談員が解りやすく説明し、就職意欲を喚起し介護・福祉の職場への入職を促すことを目的としている。また、希望者にはセミナー後に相談も実施している。

実施回数	会場※	参加者数	新規登録者数	採用数
毎月第3金曜日:12回	くさつセンター サブルーム	29人	5人	2人

※会場参加 18 人、オンライン参加 11 人)

(7)無料職業紹介事業等の実施

①概要

・職業安定法第 33 条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター区分	新規求人数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人数 (年平均)	有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェア等を通じた採用数	採用数計
くさつ	3,178	669	801	200	4.00	50	35	48	83
ひこね	1,168	369	299	102	2.93	11	5	44	49
合計	4,346	1,038	1,100	302	3.46	61	40	92	132
令和5年度	5,313	1,210	1,182	323	3.66	98	62	80	142
令和4年度	5,313	1,457	1,182	419	2.82	100	66	138	204
令和3年度	4,662	1,444	1,186	401	2.96	131	81	114	195
令和2年度	4,287	1,226	1,080	328	3.29	92	61	48	109
令和元年度	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156

・人材センターでの採用数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人数	118	93	88	156	109	195	204	142	132

②求人情報等の発信

・毎月2回程度、最新の求人情報をまとめてホームページや SNS 等で発信した。
希望者には求人情報誌を送付した。

③地域へ出向いての就職活動支援

ア.ハローワーク等でのガイダンス・職場説明会、出張相談の実施

・くさつセンターでは、ハローワーク等での求職者へのガイダンスの開催。さらに、休日に地域のコミュニティセンター、県立男女共同参画センター等の会場を借りて、職場説明会を実施した。

出張相談では、ハローワーク大津と連携し、毎月1回(1回3時間)の出張相談を実施した。

・ひこねセンターでは、長浜駅町テラス内の LOCOLIVING での出張相談のほか、長浜まちづくりセンター(さざなみタウン)、COZYTOWN において、毎月または隔月で「職場説明会」を開催し、採用数の増加につなげた。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 11回	250	11	0
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 11回	228	4	0
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	51	5	0
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 7回	182	3	0
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 4回	49	4	1
ひこね	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 11回	137	15	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 11回	103	11	0
合 計			1000	53	1

<職場説明会>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ここぴあ(湖南市)	令和6年 5月11日(土)	9	4	1
	ピアザ淡海(大津市)	令和6年 5月25日(土)	21	13	1
	まる一む(甲賀市)	令和6年 7月13日(土)	18	9	1
	ウイングプラザ (栗東市)	令和6年 8月3日(土)	12	9	3
	男女共同参画センター (近江八幡市)	令和6年 9月14日(土)	21	10	2
	大津市立市民文化会 館(大津市)	令和6年 9月28日(土)	25	17	7
	キラリエ草津 (草津市)	令和6年 10月12日(土)	16	4	3
	アピア(東近江市)	令和6年 10月26日(土)	8	6	2
ひこね	さざなみタウン	8回	77	22	6
	COZYTOWN	6回	55	12	4
合 計			262	106	30

※ひこねセンター3月開催の説明会採用数は4月以降の積算をするため含んでいない

<出張相談(ハローワーク大津以外は要予約)>

センター区分	開催場所	開催時期	相談者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第3火曜日	8	5	3
	シニアジョブステーション滋賀	毎月第2木曜日	2	0	0
	滋賀マザージョブステーション	毎月第4水曜日	10	0	0

ひこね	LOCOLIVING	毎月第3金曜日	9	2	5
合 計			29	7	8

<市町および養成施設等における就職支援>

センター区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
くさつ	滋賀新卒応援ハローワーク	令和6年 4月17日(水)	8
	(有)スタック	令和6年 5月2日(木)	7
	介護労働安定センター介護労働講習	令和6年 6月26日(水)	30
	(有)スタック	令和6年 7月3日(水)	6
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和6年 7月17日(水)	13
	近江八幡市(入門的研修)	令和6年 9月27日(金)	18
	大津市(入門的研修後)	令和6年 9月28日(土)	8
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和6年 10月2日(水)	13
	湖南市(入門的研修)	令和6年 11月16日(土)	18
	湖南市(入門的研修)	令和6年 11月23日(土)	19
	(有)スタック	令和6年 12月11日(木)	2
	大津市(入門的研修)	令和6年 12月20日(金)	6
	甲賀市(入門的研修)	令和6年 12月21日(土)	8
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和7年 1月15日(水)	23
	甲賀市(介護の担い手研修)	令和7年 2月16日(日)	29
日野町(入門的研修)	令和7年 2月28日(金)	8	
合 計			216

イ. 学校、各市町等主催の就職フェア等への出展等(求職者への相談支援)

センター区分	主催	開催日	会場	概要
くさつ	近江八幡市	令和6年 10月5日(土)	G-NET	出展法人数:6 来場者数:26
	甲賀市・湖南市	令和6年 11月19日(日)	碧水ホール	出展法人数:19 来場者数 :14
	高島市	令和6年 12月20日(金)	安曇川公民館	出展法人数:15 来場者数:20
ひこね	長浜市・米原市	令和6年 11月30日(土)	さざなみタウン	出展法人数:15 来場者数:35
	湖東圏域	令和6年 8月22日(木)	プロシードアリーナ	出展法人数:20 来場者数: 26
	湖東圏域	令和7年 2月20日(木)	プロシードアリーナ	出展法人数:23 来場者数:18

④福祉職場の魅力発信・啓発

ホームページ、LINE、facebook、ツイッターによる情報発信

・LINE等を活用し、介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信した。WEBを活用した情報発信件数は193回となった。

・LINE登録者は732人(前年比+53人)となった。

ラジオを活用したセンターの広報・周知

・エフエム滋賀での週2回(土・日)夕方のラジオCMで人材センターの周知を行った。

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1)新入職員の定着支援

①実行委員会形式による合同入職式の開催

開 催 日	令和6年5月21日(火)
会 場	琵琶湖ホテル
内 容	<p>○合同入職式 滋賀県知事を迎え合同入職式を実施。会場参加者には知事より直筆メッセージカードを交付。</p> <p>○演習&交流会 内容:「楽しくチームワークを学びましょう！」</p> <p>進行:しが介護の職場合同入職式実行委員会</p> <p>○交流会応援ソング&メッセージ 演奏:田中 孝史 他 EMPOWERMENT RECORDS</p>
希 望 者 数	71人(会場参加44人、不参加であるがメッセージカードのみ交付者27人)
実行委員会 (11団体)	滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

②新入職員フォローアップ研修・交流会の開催(1年後)

開 催 日	令和7年3月12日(水)(ひこね)、3月19日(水)(くさつ)
会 場	長寿センター(くさつ)、COZYTOWN(ひこね)
内 容	<p>○交流会 内容:「日々のふりかえり」「あなたにとって大切な価値観とは」をテーマにしたグループワークや仲間づくり</p> <p>講師:(福)びわこ学園 増野隼人氏 (福)高島市社会福祉協議会 西村一真氏</p>
参 加 者 数	くさつ25人、ひこね19人

(2)メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

	参加者数	内容
内 容	28人 (23事業所)	1年間を通じたプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師)和田 薫(Kanka 代表) ・育成研修(令和6年4月25日(木)、5月30日(木)) ・フォローアップ研修(令和6年9月2日(月)) ・講師によるオンライン相談会(令和6年11月～令和7年1月末) 4名:5回 ・成果報告会(令和7年3月3日(月) 参加24人)

(3)事業所向け人材確保・定着セミナーの実施

開 催 日	令和6年9月10日(火)
会 場	長寿センター
内 容	○介護・福祉人材採用力強化セミナー 事業所セミナー 講師:株式会社リクルート 坂本 宗康氏 ●「職場見学・体験プログラム作成セミナー」 ●採用マーケティングの考え方 ●職場見学プログラムの磨き込みについて
参 加 数	13事業所 16名

開 催 日	令和7年3月18日(火)
会 場	キラリエ草津
内 容	○介護・福祉人材採用力強化セミナー第二弾 講師:株式会社リクルート 坂本 宗庸氏 ●「介護人材の離職防止と定着強化」 ●離職状況の確認と職員間の人間関係構築の重要性 ●従業員満足度を高めるための「4つの視点」 ●面接アプローチの手法 ●キャリア形成の重要性
参 加 数	7事業所 10名

(4)現任職員の交流の場としての「ふく・楽 CAFÉ」の開催

・福祉現場で働く現任職員の「横の繋がり」や「交流の場」として、くさつセンター、ひこねセンターで毎月1回開催した。(R6.10月より開始)

会場	開催日	ふく・楽 CAFÉ テーマ	参加人数
くさつ	令和6年10月17日(木)	リーダー向け 「人づくり、人育ての考え方」	2
	令和6年11月22日(金)	入職5年未満 「集まれ！若手職員！」	3
	令和6年12月19日(木)	リーダー向け 「リーダーの悩み・思いについて話そう！」	3

	令和7年1月17日(金)	入職5年未満 「先人について学ぶ」 増野 隼人氏	3
	令和7年2月27日(木)	リーダー向け 「介護・福祉の“いま”を語ろう！」	0
ひ し ね	令和6年10月23日(水)	リーダー向け 「人づくり、人育ての考え方」	3
	令和6年11月22日(金)	入職5年未満 「集まれ！若手職員！」	0
	令和6年12月18日(水)	リーダー向け 「リーダーの悩み・思いについて話そう！」	0
	令和7年1月22日(水)	入職5年未満 「集まれ！若手職員！」	0
	令和7年2月19日(水)	リーダー向け 「介護・福祉の“いま”を語ろう！」	0
		合計	14

キャリア・ライフ電話相談の実施

・介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 令和6年4月1日(土)～令和7年3月31日(日)

月～金曜日(祝日、年末年始を除く)10時～16時

実施方法 電話相談

相談件数 6件

分類	件数	分類	件数
1. 職場内人間関係	1	4. 資格取得等のスキルアップ	2
2. ワーク・ライフ・バランス	0	5. 支援技術等ノウハウ	0
3. 職場のストレス(1以外)	1	6. その他	2

(5)「滋賀の福祉人マスター」および在籍事業所の推奨と協働による人材確保、定着促進

・「滋賀の福祉人マスター」在籍事業所への助成事業

▶1期生(2年目助成)

助成件数:14名(14事業所)

助成実績額: 1,295,000 円

助成期間:令和6年4月1日から令和7年3月31日

▶2期生(1年目助成)

助成件数:7名(7事業所)

助成実績額: 350,000 円

助成期間:令和6年10月1日から令和7年3月31日

・「滋賀の福祉」実践推進事業所推奨事業

日時:R7年2月25日 16:00~16:30

会場:第1研修室

推奨事業所:14 事業所(えにしアカデミー第1期生)

滋賀県社会福祉研修センター

1 「滋賀の福祉人」研修

県、大津市と本会による三者協定「滋賀の福祉人の育成に関する協定」(平成30年12月7日締結、令和4年3月1日一部改定)に基づき、令和4年度より「滋賀の福祉人研修」を実施。カリキュラム検討委員会での検討を踏まえ、県内の福祉従事者の福祉の専門性として、価値(考え方)に重点を置き、自らの福祉観を育むよう、内容充実に努めた。

(1) 社会福祉共通研修

① 新任期(原則3年未満)	(3日×2コース) 内1コース COZYTOWN 実施	[修了者数] 55人
② 中堅期(原則5年未満)	(3日×1コース)	[修了者数] 41人
③ チームリーダー	(3日×1コース)	[修了者数] 39人
④ 管理職	(2日×1コース)	[修了者数] 24人

※「滋賀の福祉人」とは

「滋賀の福祉人」とは、支援の知識や技術を支える基本となる支援者としての高い倫理観や価値観を有し、それらを土台に据えて主体的に日々の福祉実践を行う人材をいう。

2 介護分野で働く「滋賀の福祉人」育成研修

(1) 介護職階層別

① 新任期(原則3年未満)	(5日×5コース) 内1コース COZYTOWN 実施	[修了者数] 39人
② 中堅期(原則5年未満)	(5日×1コース)	[修了者数] 31人
③ チームリーダー	(5日×1コース)	[修了者数] 23人
④ 管理職	(3日×1コース)	[修了者数] 16人
(2) 介護職員チームリーダー養成研修	(17日×2コース)	[修了者数] 21人

3 課題別研修

- (1) 障害福祉分野等における対人支援のための記録入門研修(2日×1コース) [修了者数] 26人
- (2) 高齢福祉分野における対人支援のための記録入門研修(2日×1コース) [修了者数] 21人
- (3) OJT推進リーダー研修(3日×1コース) [修了者数] 56人
- (4) キャリアデザイン研修
 - ① 新任期(2日×1コース) [修了者] 53名
 - ② チームリーダー(2日×1コース) [修了者] 56名

4 介護支援専門員の法定研修事業 ※一部科目はオンデマンド受講

- (1) 介護支援専門員実務研修 (91 時間×4 コース) 内1 コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 205 人
- (2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ (56 時間×3 コース) 内1 コースオンラインコース [修了者数] 89 人
- (3) 介護支援専門員専門課程Ⅱ (32 時間×5 コース) 内1 コース COZYTOWN 実施
内1 コースオンラインコース [修了者数] 306 人
- (4) 介護支援専門員再研修 (55 時間×3 コース) ※更新研修Ⅱと同時実施 [修了者数] 70 人
- (5) 介護支援専門員更新研修Ⅱ (55 時間×3 コース) ※再研修と同時実施 [修了者数] 92 人
- (6) 主任介護支援専門員研修 (70 時間×1 コース) 一部科目2 クラス [修了者数] 76 人

5 認知症に関する専門的研修事業

- (1) 認知症介護基礎研修 集合 (1 日×2 コース) 内1 コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 101 人
e-ラーニング (随時) [修了者数] 815 人
- (2) 認知症介護実践者研修 (6 日×3 コース) [修了者数] 245 人
- (3) 認知症介護実践リーダー研修 (7 日×1 コース) [修了者数] 64 人
- (4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 (5 日×1 コース) [修了者数] 12 人
- (5) 認知症介護サービス事業開設者研修 (1 日×1 回) [修了者数] 6 人
- (6) 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2 日×2 コース) [修了者数] 43 人
- (7) 小規模多機能型サービス等計画作成者研修 (2 日×2 コース) 各1 日目 COZYTOWN 実施
[修了者数] 24 人

6 権利擁護に関する研修事業

- (1) 権利擁護(身体拘束廃止)推進員養成研修 (4 日×1 コース) [修了者数] 23 人
- (2) 身体拘束ゼロセミナー (1 日×1 回) 会場 [修了者数] 96 人
オンデマンド [修了者数]1,044 人(報告事業所)
- (3) 障害者虐待防止・権利擁護相談担当職員研修 (2 日×1 回) 1 日目オンライン [修了者数] 44 人
- (4) 障害者虐待防止・権利擁護施設従事者研修 管理者向け (1 日×2 回) [修了者数] 91 人
従事者向け 講義動画配信 [受講者数] 185 人

7 えにしアカデミー

(1) 第2期生の修了

1) 修了論文発表会の開催

開催日 令和6年8月6日(火)

場 所 滋賀県立長寿社会福祉センター 第1研修室

出席者 60名

2期生、2期生の推薦者、フェロー、3期生 等

修了論文一覧

学生 所属分野	修了論文
高齢	社会福祉法人あすなろ福祉会の源流から未来へ

	～「障害があっても同じ人間や」～
高齢	地域とのつながりをつくる地域包括ケアシステム ～小規模多機能型居宅介護事業所の総合相談機能に焦点をあてて～
高齢	相談支援専門職の成長促進要因に関する研究 ～南長浜地域包括支援センターの実践から～
高齢	真綿と桑と桑の実と ～価値あるものを埋もれさせないためのバトンリレーの可能性を考える～
障害	本人の意思決定支援を大切にした職場とは？ ～本人と支援者の協働としてのエンパワーメントの形成に向けて～
障害	「放課後等デイサービスにおける「質の良い支援」とは」 ～現状と課題を踏まえ、現場実践につなげるために～
障害	限界集落出身者が考える集落の救済方法 ～地元出身者アンケートから見た持続可能な未来像～
児童	一時保護委託の推進に向けた児童福祉施設の取り組み ～施設担当者を対象としたインタビュー調査から～
保育	外国にルーツを持つ子どもの保護者の声を聴く
保育	「ともに心地よい場所で生まれるエンパワーメントについて」 ～«みのり保育園»で展開している実践を踏まえて～
社協	インクルーシブデザイン思考が推進する多分野協働の地域福祉実践
社協	社会的養護における自立支援としてのハローわくわく体験事業の可能性
行政	児童相談所の『個別の物語』～職員のナラティブに着目して～
行政	滋賀県における重度訪問介護の実態から考える ～声なき声に耳を傾ける～

以上14題

2) 第2期生修了式の開催

開催日 令和6年9月12日(木)

場 所 ホテルボストンプラザ草津びわ湖 ケネディルーム

出席者 37名(うち第2期修了生14名)

山田忠利氏(健康医療福祉部 部長)、えにしアカデミー運営委員、団体・職能団体、
学生、所属法人、滋賀の福祉人マスター(1期生) 他

3) 称号 滋賀の福祉人マスター授与

修了生(2期生)14名

(2) 第4期生の募集と入学式の開催

1) 第4期生の入学者数

入学生数 13名(定員15名)
聴講生 15名(令和6年3月31日現在)
個人申込11名 団体申込4か所

2) 第4期生入学式の開催

開催日 令和6年10月3日(木)
場 所 滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室
出席者 32名(うち4期生入学生12名)
団体・職能団体、えにしアカデミー運営委員、学生所属法人、県内社会福祉法人、えにしアカデミー3期生 他

(3) 講義等の実施

1) 講義実施状況

令和6年4月～令和7年3月 オンライン講義 34回
集合講義 8回

2) 1年・2年共通オンライン特別講義の実施

開催日 令和6年1月17日(金)
講義テーマ 社会保障・こども政策の展望
講 師 田中 義高 氏(子ども家庭庁 長官官房 参事官)
出席者 学生20名

3) えにしアカデミー特別講座の実施

開始日 令和6年3月17日(月)
場 所 滋賀県庁新館7階 大会議室
講義テーマ 子ども若者とともにつくる共生社会～私とあなたの居場所づくり～
登壇者 湯浅 誠フェロー・岸本 織江氏(滋賀県副知事)・上野谷 加代子学長
出席者 学生25名
一般70名 計95名
プログラム 第1部 湯浅フェロー講義
第2部 湯浅フェロー・岸本副知事・上野谷学長によるトークセッション

4) ゼミ実施状況(令和6年4月～令和7年3月)

・2期生(令和6年4月～令和6年9月)
14名の学生が5つのゼミクラスに分かれて月1回～2回実施
修了論文作成に向けた指導および意見交換

ゼミ	所属人数	実施回数
----	------	------

新崎ゼミ	3名	5回
北野ゼミ	3名	5回
松端ゼミ	2名	6回
南ゼミ	3名	5回
渡辺ゼミ	3名	5回

・ 3期生（令和6年4月～8月）

日程	授業内容
4月	修了論文テーマについて
5月	修了論文テーマについて
6月	批判的思考
7月	文章の書き方
8月	修了論文テーマについて

・ 3期生（令和6年10月～令和7年3月）

15名の学生が5つのゼミクラスに分かれて月1回～2回実施
修了論文作成に向けた指導および意見交換

ゼミ	所属人数	実施回数
新崎ゼミ	3名	4回
北野ゼミ	3名	5回
松端ゼミ	3名	5回
南ゼミ	3名	5回
渡辺ゼミ	3名	6回

・ 4期生（令和6年10月～令和7年3月）

学生が次のテーマについてプレゼンテーションを行う

「困難に直面したときに、手にとった文献（本・雑誌・漫画・詩など）について」

日程	内容
10月	オリエンテーション
11月	発表者4名
12月	発表者3名
1月	発表者3名
2月	発表者3名

(4) 3期生修了論文構想発表会の開催

開催日 令和7年1月7日（火）

場 所 草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）402 会議室

出席者 33名（うち3期生15名含む）
4期生6名、フェロー7名 他

内 容 研究方法、修了論文の章立て（各章のテーマ）などについて発表

(5) えにしアカデミー修了論文集の作成

1期生28名の修了論文を論文集にして作成。

配布先は、修了生および修了生所属事業所、関係機関 等

【滋賀県福祉用具センター】

1 抱え上げない介護推進事業

- ・ 職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を開催した。また、一定の研修を修了し、積極的・継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として実施。新規7事業所、継続1事業所を推奨した。

- (1) 抱え上げない介護入門研修 (1日) [受講者実人数] 74人
- (2) 抱え上げない介護実践研修 (5日×2コース) [受講事業所数] 12事業所
- (3) 抱え上げない介護定着研修① (1日×2回) [受講事業所数] 10事業所
- 抱え上げない介護定着研修② (1日×2回) [受講事業所数] 9事業所
- (5) 抱え上げない介護推進事業所見学会 (3推進事業所) [参加事業所数] 20事業所
- (6) 抱え上げない介護推進事業所推奨事業 [推奨決定事業所]

- ・ 社会福祉法人野洲慈恵会 特別養護老人ホームあやめの里
- ・ マザーレイク株式会社 小規模多機能型居宅介護マザーレイク湖の波
- ・ 社会福祉法人若竹会 山寺作業所
- ・ 社会福祉法人びわこ学園 重症心身障害者通所施設たいよう
- ・ 社会福祉法人びわこ学園 重症心身障害者通所施設ピアーズ
- ・ 社会福祉法人びわこ学園 医療福祉センター野洲
- ・ 社会福祉法人びわこ学園 医療福祉センター草津
- ・ 社会福祉法人よつば会 地域密着型特別養護老人ホームやまであら

2 福祉用具(ICT,介護ロボットを含む)を活用したケアの推進

(1) 福祉用具を活用したより良い暮らしや介護負担軽減のための相談支援

医療・福祉サービスの利用者やその家族、施設・事業所等関係機関から、福祉用具や住宅改修等の相談を受け、アセスメント、選定、使い方の助言・指導、フォローアップ等を行った。

①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応 118件

	内容
相談方法	来所 (67)、電話 (45)、訪問 (5)、Eメール (1)
相談者	福祉医療職 (18)、家族 (56)、本人 (33)、福祉用具事業所 (4)、その他 (7)
相談内容 (延べ)	用具紹介 (63)、選定 (21)、改造 (20)、住宅改修 (4)、制度 (4)、その他 (21)
用具品目 (延べ)	衣類 (19)、コミュニケーション支援機器 (11)、移乗用具 (13)

	車いす (14)、住宅関連用具 (7)、姿勢管理用具 (1)、入浴用具 (15)、 歩行支援用具 (19)、ベッド (9)、食事用具 (4)、排泄用具 (5)、 褥瘡予防用具 (1)、認知症関連用具 (1)、その他 (11)
--	--

②福祉用具等の改造・製作 10件

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	衣類の改造	10件

(2) センターでの常設展示、見学対応、展示用具の貸出

①福祉用具センター展示

628点の福祉用具を展示（令和7年3月末日現在）

②展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

試用評価貸出者 200人 貸出点数 323点

分類別貸出用具点数			
自助具	136点	コミュニケーション関連	33点
排泄用具	23点	入浴用品	39点
歩行支援	9点	家具・手すり住宅関連	9点
移乗用具・リフト	54点	車いす・車いす関連	3点
衣類・靴	10点	褥瘡予防	5点
その他	2点		

・研修・地域イベント等への福祉用具の外部への貸出 33件

借用者	件数
福祉関係機関・団体等	21件
福祉用具販売事業所	12件

③福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来所者数 2,088人

団体見学 (17団体)	364人	主催研修 (32回)	654人
個人見学	154人	外部依頼研修 (5件)	109人
来所相談	113人	その他来館者	494人
福祉用具試用貸出	200人		

・福祉用具センター利用者数 2,699人

来所者	2,088人	来所以外の相談	51人
出前講座・出前展示	560人		

(3) 福祉用具セミナー・展示体験会の開催

テーマ	「これからの福祉用具」～ぴったりの福祉用具に出逢うには～
開催日	令和6年8月20日(火)
会場	米原市役所本庁舎コンベンションホール
共催	県立リハビリテーションセンター、日本福祉用具供給協会滋賀ブロック 滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護現場革新サポートデスク
協力	滋賀県作業療法士会
後援	米原市
内容	スペシャルセミナー「これからの福祉用具の選び方」 製品プレゼンテーション、製品展示体験、相談
参加者	150人

(4) 福祉用具を活用した在宅介護相談会の開催

- ・ アル・プラザ彦根で「暮らしを快適にする福祉用具ミニ展示会」として、一般の方を対象にした展示相談会を開催した。また、しがけあフェスタ(ビバンティ彦根)で福祉用具センターとしてブースを出展した。

開催日	内容	来場者数
令和6年7月12日	抱え上げない介護関連製品の展示体験	14人
令和6年11月2日	リフト・自助具の体験(しがけあフェスタ)	326人
令和6年12月6日、7日	工事不要の手すり・スロープの展示体験	30人

(5) ICTを活用したコミュニケーション支援に関する協議会の開催

開催日	協議事項および結果
令和6年7月26日	・ 構成機関・団体の取組の共有 ・ 構成機関・団体間における連動した研修会開催の検討 ・ リソースマップ作成に向けた検討
令和7年2月10日	・ 構成機関・団体の取組の共有 ・ 構成機関・団体間における連動した研修会開催の検討 ・ リソースマップ作成に向けた検討

(6) ホームページ、SNS、啓発資料による情報発信

- ・ ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを活用し、抱え上げない介護情報、製品情報等の発信を行った。また、抱え上げない介護の啓発資料を作成した。

(7) 福祉用具に関する専門研修

福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるために、介護・福祉事業所を対象にした福祉用具・住宅改修に関する専門的研修を実施した。

- ① 福祉用具・住宅改修基礎研修 (2日) [受講者実人数] 44人
- ② 福祉用具プランナー認定講習集合講習 (9日) [修了者数] 18人
- ③ リフトリーダー養成研修 (2日) [受講者実人数] 28人

④ シーティング研修（テーマ別研修）（1日） [受講者数] 27人

(8) 関係機関、学校等外部からの依頼研修の実施 5件

依頼元	依頼元数
医療養成校等	2件
福祉用具メーカー	1件
関係機関・団体	2件

3. 介護生産性向上総合推進事業

(1) 研修会の実施

介護現場革新や業務改善の必要性、方法、先進事例などを広く普及・啓発することを目的とした研修を開催した。

- ① テクノロジーを活用した介護現場の革新（1日） [受講者数] 136人
- ② 明日からできる！「職員の負担軽減&ケアの質向上」セミナー（1日）
[受講者数] 182人
- ③ 介護現場における業務改善リーダー育成セミナー（1日）
[受講者数] 47人
- ④ 生産性向上×ノーリフティング（抱え上げない介護）（1日）
[受講者数] 47人

(2) 相談対応窓口の開設

サポートデスク職員や県内の介護団体から推薦いただいた、しが介護現場革新アドバイザーが、機器の導入をはじめ、業務改善の取り組み事例や介護ロボット・ICT 機器 の活用方法など、各事業所の困りごとの相談を受け、必要に応じてアドバイザーの派遣を行った。

① 個別相談対応 37件

相談方法	電話 ⁽²⁶⁾ 、訪問 ⁽⁷⁾ 、E-メール等 ⁽³⁾ 、来所 ⁽¹⁾
相談者職種	管理者・施設長 ⁽¹³⁾ 、介護職員 ⁽⁶⁾ 、事務職 ⁽⁴⁾ 、その他 ⁽⁴⁾ 、相談員 ⁽³⁾ 、不明 ⁽⁷⁾
相談者サービス種別	障害福祉サービス（日中活動系） ⁽⁶⁾ 、特定施設入居者生活介護 ⁽⁵⁾ 介護老人福祉施設 ⁽⁶⁾ 、介護老人保健施設 ⁽⁴⁾ 、認知症対応型共同生活介護 ⁽²⁾ 、特定施設入居者生活介護 ⁽⁵⁾ 、認知症対応型通所介護 ⁽²⁾ 障害福祉サービス（施設系） ⁽²⁾ 、市町 ⁽²⁾ 、不明 ⁽²⁾ 、訪問看護 ⁽¹⁾ 、福祉用具貸与 ⁽¹⁾ 通所リハビリテーション ⁽¹⁾

② 専門相談会 10回実施

参加事業所数	141事業所
参加事業所サービス種別	介護老人福祉施設 ⁽³⁷⁾ 、認知症対応型共同生活介護 ⁽²³⁾ 、小規模多機能居宅介護 ⁽¹⁶⁾ 、通所介護 ⁽¹⁶⁾ 、介護老人保健施設 ⁽¹³⁾ 、訪問介護 ⁽⁷⁾ 、認知症対応型通所介護 ⁽⁶⁾ 、地域密着型介護老人福祉施設 ⁽⁵⁾ 、地域密着型通所

	介護 (5)、短期入所 (3)、看護小規模多機能居宅介護 (2)、特定施設入居者生活介護 (2)、居宅介護支援 (2)、地域密着型特定施設入居者生活介護 (1)、通所リハビリテーション (1)、訪問看護 (1)、介護医療院 (1)
--	---

(3) 試用貸出支援 2件

介護ロボット・ICT の普及を目的に、機器に関する相談やメーカー企業の紹介、機器 の試用貸出等を行った。

サービス種別	試用貸出機器の種類
介護老人保健施設	移乗介助機器
認知症対応型共同生活介護	見守り・コミュニケーション機器

(4) 業務アドバイザーの育成および派遣

業務アドバイザー13人を委嘱するとともに、研修実施により育成し、サポートデスクが相談を受けた事業所に派遣し、助言等を行った。

- ① 業務アドバイザー研修 (1日×2回)
- ② 業務アドバイザー視察研修 (1日×2回)
- ③ 業務アドバイザー派遣

派遣先	相談内容
特定施設入居者生活介護(1)	介護ロボット等の導入前相談
地域密着型特別養護老人ホーム(1)	介護ロボット等の使い方レクチャー

(5) 関係機関連携

経営に関すること等相談内容に応じて、関係機関を紹介した。

4 重度障害児者の入浴支援事業

在宅で暮らす重度障害児者の入浴の機会が増加するよう入浴支援の充実に向けて、米原市でモデル事業を行った。

モデル	医療的ケア児1名
モデル事業期間・回数	令和7年4月から令和7年3月の間の月2回
モデル事業実施方法	放課後等デイサービス利用時間中に訪問入浴介護により入浴を提供。

5 在宅医療的ケア児者支援方策検討会

訪問介護サービス系喀痰吸引等事業所が増加することで、在宅で暮らす医療的ケア児者とその家族の生活を支える一助になることを目的に検討会を行った。

令和7年1月31日	現状と課題の共有と整理
令和7年3月4日	喀痰吸引等事業所を増やすための具体的な方策の検討

6 福祉用具センターの運営管理

(1) 滋賀県福祉用具センター運営委員会の開催

開催日	協議事項および結果
令和6年9月13日	① 福祉用具状況調査結果の報告 ② 展示福祉用具の選定について(12点中12点採用)
令和7年2月3日	① 展示福祉用具の選定について(11点中8点採用)

【COZY TOWN】

1 広報、情報発信の状況

- ・COZYTOWNについてHPおよびSNSによる情報発信
滋賀県社協HP(COZY TOWN ページ)、Instagram、Facebook
SNS 更新頻度:月4-5回程度(年間67回)
- ・COZY TOWN リーフレット等を用いた COZYTOWN の周知
- ・イベントカレンダーの作成および更新
月ごとの COZY TOWN でのイベントカレンダーを作成し紙および SNS・HP にて発信。

2 基本事業の実施

- ・滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスの運営

在校生

45期:園芸学科 22名

北近江文化学科 17名

健康づくり学科 18名 計57名

44期:園芸学科 33名

北近江文化学科 21名

健康づくり学科 20名 計74名

レイカディア美術展開催 2024年5月29日~6月2日 ※5日間

レイカディア大学祭 2024年7月19日~20日

- ・SLEC

<友活講座>

卒業後の社会貢献の入り口として、趣味・生きがいづくり、社会参加・貢献に活かせるスキルの獲得を目的に、陶芸やスマホ操作など多様な講座を実施した。

<ベース友活>

レイ大卒業生、現役学生、地域住民が参加者となって自由に語り合う居場所として実施(月に2回)。

外部ゲストによる話題提供や参加者のテーマトークによる対話や、健康増進を目的に体験型ワークショップを実施した。

場 所：コージータウンカフェ

参加費：100円 / 1回

・滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンター

介護・福祉職の無料職業紹介所として運営
カイゴとフクシ就職フェア in しが 1回実施
職場説明会 6回実施
現任者向けふく楽カフェ 2回
かいごのシゴト就職応援セミナー 1回

・つながり若者センターCOZYTOWNの運営

個別相談支援と居場所活動を軸に主に社会的養護のもとを築立った若者の支援を展開。

3 ごっちゃん事業の実施

・おやさロン(子育て支援) <小嶋会・さざなみ学園×つなわか×カフェ>

実施日	毎週金曜日 14:00~16:00
-----	-------------------

・若者食堂(若者の居場所活動) <さざなみ学園×つなわか×カフェ>

実施日	第1金曜日(夜:COZY 食堂) 第2火曜日(昼:サロン活動+COZY 食堂) 第4金曜日(昼:サロン活動+COZY 食堂)
-----	--

・こころと身体の発育サロン「ここから座談会」(心理士による教育相談)

<さざなみ学園×つなわか>

実施日	毎月第3火曜日
-----	---------

・特例貸付猶予・免除の手続き相談会<修学・生活資金課×コージータウン推進課>

実施日	12/8、3/15
-----	-----------

・福祉用具ミニ展示会<福祉用具センター×アル・プラザ彦根>

実施日	12/6~12/7
-----	-----------

・みんなにやさしい『抱え上げない介護』ミニ体験会<福祉用具センター×アル・プラザ彦根>

実施日	7/12
-----	------

・子ども食堂フェスタ in コージータウン

<地域福祉課×子ども食堂×えにしの会×スポンサー企業×アル・プラザ彦根>

実施日	8/31 ※ 台風により中止
-----	----------------

・「COZY TOWN café +PLUS カモミール」の開催

<小嶋会・さざなみ学園×つなわか×カフェ×コージータウン推進課>

実施日	6/21、7/19、9/20、10/18、11/15、12/20、 1/17、2/14
-----	--

・ふく楽カフェ(現任者向け)

<社会福祉研修センター×介護・福祉人材センター>

実施日	12/9、3/15
-----	-----------

4 バリアフリー映画会開催状況

開催日	上映作品	来場者数
R6.5.11	彼らが本気で本気で編むときは、	50
R6.6.8	チョコレートな人々	51
R6.7.13	島々清しゃ(しまじまかいしゃ)	41
R6.8.10	神在月のこども	30
R6.9.14	心の傷を癒すということ	67
R6.10.12	さよならほやマン	25
R6.11.9	バカ塗りの娘	37
R6.12.14	ライフ・イズ・クライミング!	47
R7.1.11	福田村事件	55
R7.2.22	あまろっく	56
R7.3.8	かづゑ的	44

延べ参加者数 503名 月別平均 45.7人

5 COZY TOWN Café 運営状況 ※売掛除く

年月	来客数	売上
R6 4月	1,586	635,850
5月	1,436	567,700
6月	1,533	636,400
7月	1,770	709,350
8月	1,543	648,800
9月	1,704	706,250
10月	1,708	675,700
11月	1,708	700,200
12月	1,561	643,800
R7 1月	1,736	614,300
2月	1,561	625,150
3月	1,825	775,600
合計	19,671名	7,939,100円

【滋賀県運営適正化委員会事務局】

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 全体委員会の開催

開催日 令和6年9月20日（金）

会場 滋賀県立長寿社会福祉センター

議事 運営適正化委員会の活動状況、今後の活動についての意見交換 等

2 福祉サービスの苦情解決

福祉サービス利用者等からの苦情の適切な解決を図るため、下記の通り合議体を開催し、解決方法の検討等対応について協議を行った。

(1) 苦情解決合議体の開催（全6回）

	日時	報告内容		
		対象期間	苦情	相談・問合せ
1	令和6年4月23日(火)	R5.4.1～R6.3.31	0	141 (R5 総数)
2	令和6年7月23日(火)	R6.4.1～R6.6.30	0	45
3	令和6年9月20日(金)	R6.7.1～R6.8.31	新規3	24
4	令和6年11月8日(金)	R6.9.1～R6.10.31	新規1 追加報告2	14
5	令和7年1月29日(水)	R6.11.1～R7.1.15	0	23
6	令和7年3月28日(金)	R7.1.16～R7.3.18	0	27

(2) 福祉サービスに関する苦情相談の受付状況（月別）

※苦情受付件数は新規のみ計上

	苦情 受付	苦情解決の結果（内訳）							その他 問合せ等	合計
		相談 助言	紹介 伝達	あつ せん	通知	事情 調査	申入 れ	継 続		
合計	4	0	4	0	0	0	0	0	140	144

3 福祉サービスの苦情解決に関する広報・啓発等

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会の機能・役割を幅広く周知し、利用者側から相談をしやすい環境づくりを進めるために、広報啓発を実施した。

(1) 県民向けの福祉サービスの苦情解決に関する広報啓発

- ①リーフレット等広報資料を県内社会福祉施設・事業者、行政、市町社協等へ随時配布
- ②県社協ホームページでの広報

(2) 福祉サービス施設巡回訪問の実施

社会福祉サービスを提供している事業所・施設段階における苦情解決体制整備について状況を把握し、適切な苦情解決を目的とした技術的援助を行うため、施設巡回訪問を実施。苦情対応状況の聞き取りや、苦情解決体制等についての情報提供、助言等を行った。

	期 日	対象(種別)	施設名
1	令和6年12月20日	高齢(サービス付き高齢者向け住宅)	(株)湖楓 かえで1号館・2号館
2	令和7年1月10日	児童(認可小規模保育施設)	社会福祉法人 くじら 石山くじら小規模保育園

(3) 福祉サービス苦情解決研修会の開催

事業所段階における苦情解決事業の充実を目的に、福祉サービス事業者が配置する苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員等の苦情対応力向上に資する研修会を開催した。

【応用編】

期日	場所	講義内容	対象者	参加者数
令和6年 9月30日 10:00～ 16:40	草津市立市民総合交流センター (キラリエ草津) 大会議室	【講義1】 10:00～12:00 「全国的にみる、事故事例・対応策」 講師 弁護士法人かなめ 所属弁護士 前田 敏洋氏 【講義2】 13:30～16:30 「苦情解決能力の向上を目指して ～苦情対応の実践力と再発防止力を強化 する～」 講師 コミュニケーションサポートオフィス 代表 喜山志津香氏	・福祉サービス事業所の 苦情受付担当者及び苦 情解決責任者、管理的立 場の職員、管 理者 ・第三者委員 ・その他	53名

【中級編】

期日	場所	講義内容	対象者	参加者数
令和6年 12月11日 13:30～ 16:40	草津市立市民総合交流センター (キラリエ草津) 大会議室	【講義】13:30～16:30 「苦情対応の初期対応と苦情解決能力と実践力の強化」 講師 コミュニケーションサポートオフィス 代表 喜山志津香氏	・福祉サービス事業所の苦情受付担当者及び苦情解決責任者、中堅職員（経験年数5年以上） ・第三者委員 ・その他	70名

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

市町社会福祉協議会が実施する地域福祉権利擁護事業の透明性・公正性の確保を図るため、運営監視合議体を下記のとおり開催し、必要に応じて実施主体に助言等を行った。

(1) 運営監視合議体の開催（全4回）

	期日	主な内容
1	令和6年4月19日	・令和5年度 下半期の助言事項に対する改善報告について ・令和6年度の運営監視について
2	令和6年8月21日	・令和6年度 上半期現地調査の報告と助言事項について
3	令和6年9月20日	・令和6年度 上半期現地調査の助言事項報告について ・令和6年度 下半期現地調査 計画について
4	令和7年2月4日	・令和6年度 現地調査の報告と助言事項について

(2) 定期現地調査の実施（調査対象10社協）

(3) 地域福祉権利擁護事業の苦情案件への対応